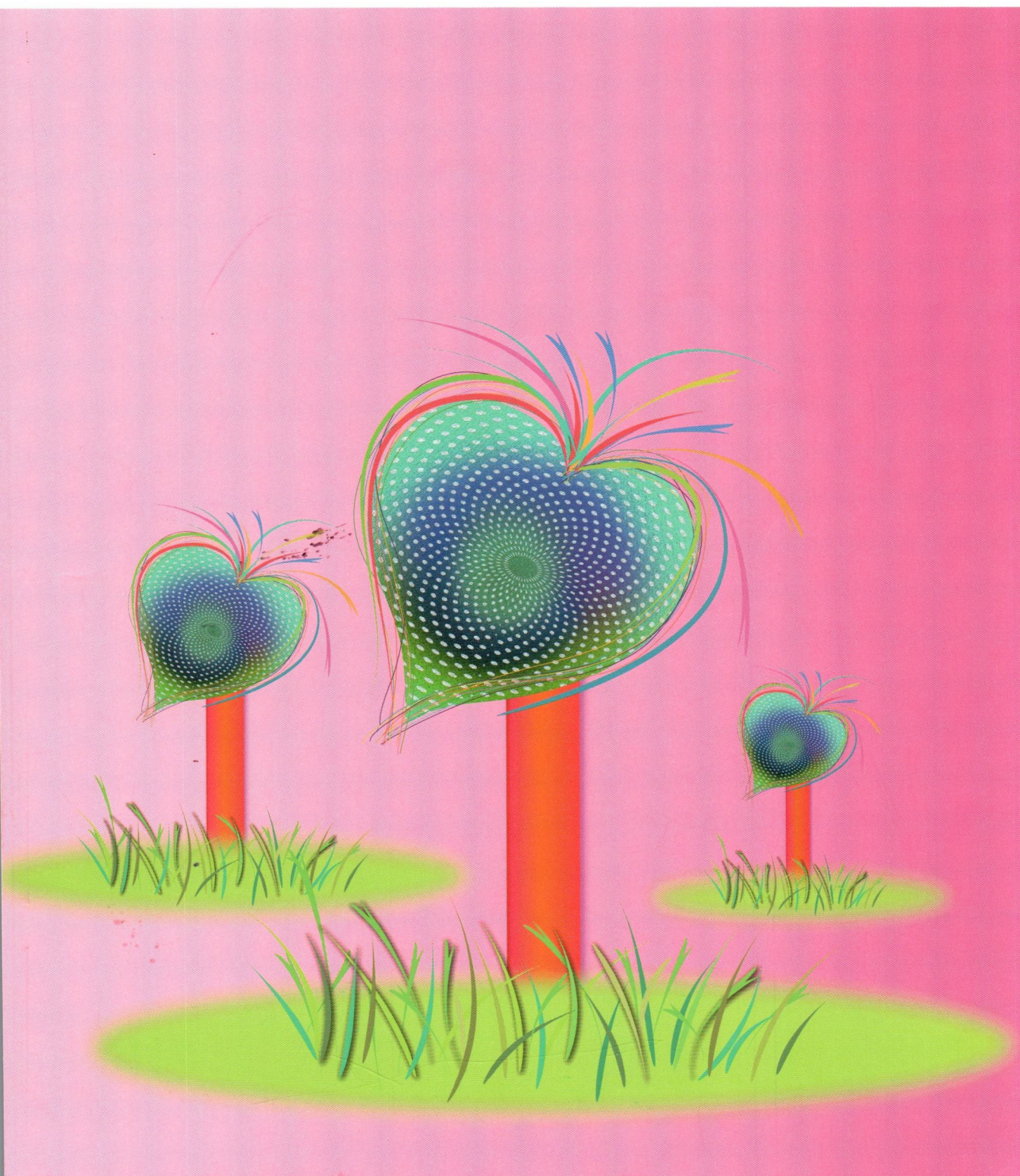


徳島県美術家協会

美術年報

2022



目 次

はじめに	徳島県美術家協会会長 松永 勉	1
令和3年事業報告		3
令和3年度役員名簿		5
令和3年度各部役員名簿		6
第75回徳島県美術展記録		11
第75回徳島県美術展出品・入選等状況		20
第75回徳島県美術展公募規定		21
徳島県美術展審査員一覧		22
徳島県美術展開催運営要項		26
第17回徳島県こども美術展		30
第17回徳島県こども美術展出品・入選等状況		31
第75回徳島県展選抜展		32
2021年各部記録		
・日本画部	部会長 岡 英彦	34
・洋画部	部会長 平木 美鶴	36
・写真部	部会長 上野 照文	42
・彫刻部	部会長 井下 俊作	44
・美術工芸部	部会長 松下 慶一	48
・書道部	部会長 隅田 英二	52
・デザイン部	部会長 坂野美恵子	58
徳島県美術家協会規約		60
後援承認事務取扱規定		61
後援名義使用承認申請書様式		62
令和3年度会員名簿		
・日本画部	64	・美術工芸部 71
・洋画部	65	・書道部 73
・写真部	68	・デザイン部 82
・彫刻部	71	
あとがき		

はじめに

徳島県美術家協会

会長 松 永 勉

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大の波が何度もあり、先の見えない状況が続いた年でした。その間ウィズコロナの生活が定着し、スポーツや芸術の活動が工夫されながら再開されてきました。大きな行事として、延期されていた東京 2020 オリンピック・パラリンピックは無観客での開催になりました。また、美術館や劇場で開催されたイベントは入場制限や感染対策を徹底した対応がとられ、これらが普通に見られる状態の続いたことが記憶に残った一年でありました。

さて、5月に開催予定をしていた第28回放美展は、既に出品受付も整い、これから開催という段階で、全国的な新型コロナウイルスの広がりにより、やむなく2年続いての中止となりました。

第75回徳島県美術展は、75回となる節目の年にふさわしい企画をとということで、前年に募集していた現代アート部門をプレイベントとして6月に開催しました。入選19点の展示作品の中から、審査によって最優秀の県美術家協会会長賞に喜田智彦さんの「融波」が選ばれました。藍を練り込んだコンクリートパネルに、観客が水を使うことで参加できる作品でした。このような視点の作品は、これまでの県展では見られなかった作品です。この分野独自のカラーを出すことができ、新しい作家の発掘につながるのではと思えました。

10月には、県美術展の7部門の展示が2年ぶりに3期に分けて開かれました。コロナ対策として、事前の申し込みや審査の非公開など関係者には大変ご苦勞をかけることになりました。さらに、会場では換気対策、検温など安心できる運営もされました。審査は7部門とも県外審査員による非公開で実施され、それぞれ素晴らしい作品が受賞作品として選ばれました。このような状況下での県美術展でありましたが、出品できることの喜びや直接作品を見ることのできる嬉しさがこれまで以上によく伝わってくるような展覧会でした。10月末から県美術展選抜展が吉野川市文化研修センターで開かれました。7部門の受賞作や市とゆかりのある入選作の合計151点の展示があり、地域での芸術文化活動の振興に寄与したことと思います。

第17回徳島県子ども美術展では、過去最多の1万5千余点の応募がありました。そのうち入賞、入選、佳作には3千2百余点が選ばれました。美術を通じて豊かな感性を育むこの企画は、今回も素晴らしい作品が多数集まりました。絵画の部で県知事賞に選ばれた

大毛舞羽さんの夕暮れ時の停泊する船を描いた風景画は、構成力、色彩の表現など抜群の出来栄で、画面に引き込まれる程の魅力のある作品でした。書写の部の県知事賞になった鎌倉芽生さんの作品「天衣無縫」は、文字の配置が美しく、リズムカルな筆運びの書でした。これらの作品は、この後、阿南市、阿波市での巡回展にも展示されました。

昨年県内で開催された美術展等の中で印象に残ったものを挙げます。7月に当協会洋画部主催の「第34回洋画部部会展」が開かれました。洋画部部会員の日頃の成果の発表の場として80点程の展示があり、各作家の力作が並べられていました。同7月には、「日展所蔵作品展」が吉野川市文化研修センターでありました。日展に属する当協会会員の作品も並べられ、質の高い見応えのある展覧会でした。10月には、阿波和紙伝統産業会館が公募した5回目の「アワガミ国際ミニプリント展2021」がありました。国際的なアートの魅力を地域から発信するこの企画は、是非続けてほしいものです。そして、徳島市の銀座に新しく「アートギャラリー GRACE」がオープンしたのは朗報です。スペースのある発表の場が市街地にあるのは作家にとってありがたいことです。ここでの第1回目の企画展には、洋画部部会長の平木美鶴さんの個展がありました。

慶事として、4月に美術工芸部会員の龍木秀子さんが「第13回とくしま芸術文化賞」に選ばれました。長年のパッチワークキルトの制作が評価されたことと思います。同じく美術工芸部会員の押し花アートの作家、吉野由紀さんも地域の芸術文化の普及に尽くしたことで、「第13回とくしま芸術文化奨励賞」を受けました。誠におめでとうございます。

訃報については、当協会顧問で長年写真部部会長を務められた櫛渕魏氏が、3月に92歳で逝去されました。また、彫刻部会長、彫刻部会委員として長年の間お世話いただいた佐藤隆氏が10月に87歳で逝去されました。お二人のご功績を称え、心よりご冥福をお祈りいたします。

最後になりましたが、徳島県、徳島新聞社、四国放送及び徳島県美術家協会関係者の皆様の当協会に対するご協力ご支援に感謝の意を表します。

令和4年3月

令和3年事業報告 (2021.1/1 ~ 2021.12/31)

- (1) 総 会 ◇令和3年5月22日(土)に予定していたが、新型コロナ感染拡大の影響で中止。書面開催となった。
- (2) 第28回放美展 (中止・延期)
- (3) 第75回徳島県美術展 (別掲)
- (4) 第17回徳島県こども美術展 (別掲)
- (5) 第75回徳島県美術展 選抜展 (別掲)
- (6) 関係会議 ◇ 3月 1日(月) 第75回(2020)県展 第4回運営委員会 徳島新聞社
◇ 3月 6日(土) 理事会 あわぎんホール
◇ 4月16日(金) 第28回(2021)放美展 第2回運営委員会 四国放送
◇ 6月10日(木) 第75回(2021)県展 第1回運営委員会 徳島新聞社
◇ 6月24日(木) 第75回(2021)県展 臨時運営委員会 徳島新聞社
◇ 9月 2日(木) 第75回(2021)県展 第3回運営委員会 徳島新聞社
◇ 11月26日(金) 第28回(2022)放美展 第1回運営委員会 四国放送
- (7) 部会行事 ◇洋 画 部 第34回洋画部会員展 (3.7.8 ~ 7.11) あわぎんホール
- (8) 各種後援 ◎令和2年度 四国大学書道文化学科卒業制作展 (3.2.5 ~ 2.7)
◎第85回 書芸院展 スポット阿波一 (3.2.18 ~ 2.21)
◎第53回 書道研究 清潮書作展 (3.3.5 ~ 3.7)
◎第41回 書研社展 (3.3.12 ~ 3.14)
◎第48回 光輪社書作展 (3.3.12 ~ 3.14)
◎第3回 徳島玄心会書展 (3.3.26 ~ 3.28)
◎洋画三人展 (3.3.31 ~ 4.11)
◎第27回 耿の会書作展 (3.4.2 ~ 4.4)
◎第33回 長玄書道会展 テーマ『オリンピック』 (3.4.2 ~ 4.4)
◎第35回 正鋒会書展 (3.4.2 ~ 4.4)
◎画業50年 河野宗之蒸油彩画個展 (3.4.7 ~ 4.13)
◎鳴門水彩美学展 (3.4.10 ~ 4.13)
◎幾田茂仁海中写真展 (3.4.16 ~ 4.19)
◎創立40周年記念 第25回尚真書展 併催ジュニア展 (3.6.4 ~ 6.6)
◎第15回 写真同人「光」写真展 (3.7.3 ~ 7.5)
◎第42回 東光会徳島支部展 (3.7.9 ~ 7.11)
◎第17回 総合美術展 (3.7.16 ~ 7.18)

◎日展所蔵作品展 - 併催 県内の日展会員・会友作品	(3.7.20 ~ 7.27)
◎第 76 回 青美展	(3.9.2 ~ 9.5)
◎第 11 回 阿波美術の森 作品展	(3.9.8 ~ 9.12)
◎第 80 回 世代美術展	(3.9.9 ~ 9.13)
◎第 66 回 書協人展	(3.9.17 ~ 9.19)
◎第 61 回 写楽会写真展	(3.9.23 ~ 9.26)
◎第 27 回 徳島障がい者芸術祭エナジー 2021	(3.10.5 ~ 10.10)
◎第 45 回 旺玄会徳島支部展	(3.10.20 ~ 10.26)
◎第 43 回 写真同人「炎」作品展	(3.10.22 ~ 10.24)
◎第 13 回 徳島絵画美学展	(3.10.28 ~ 11.1)
◎第 24 回 泰書展 テーマ：洋	(3.10.30 ~ 10.31)
◎AWA 現代アート展 2021 —お山の芸術祭—	(3.10.31 ~ 11.14)
◎第 86 回 書芸院展 テーマ「一か八か」	(3.11.5 ~ 11.7)
◎第 35 回 藍美展	(3.11.5 ~ 11.7)
◎第 24 回 せせらぎ書展	(3.11.19 ~ 11.21)
◎第 51 回 直心会書展	(3.11.19 ~ 11.21)
◎第 18 回 徳島版画展	(3.11.23 ~ 11.28)
◎第 51 回 芳藍書道展	(3.11.26 ~ 11.28)
◎第 52 回 ナルトぴんぼけクラブ写真展	(3.11.26 ~ 11.28)
◎徳島アート 21 第 18 回展	(3.11.26 ~ 11.28)
◎第 6 回 書道創作グランプリ	(3.11.27 ~ 12.5)
◎第 17 回 吉野川市書人会作品展	(3.12.3 ~ 12.5)
◎第 6 回 由源書心会展	(3.12.10 ~ 12.12)
◎第 50 回記念 歳末チャリティー美術展	(3.12.16 ~ 12.19)
◎第 41 回 臨池書展	(3.12.18 ~ 12.19)

令和3年度 役員名簿

会 長	松 永 勉	理 事	能 仁 華 瑤
副会長	西 野 和 男	〃	宮 守 崇 流
〃	荒 井 彭 仙	〃	坂 野 美恵子
事務局長	隅 田 英 二	〃	福 井 章
理 事	岡 英 彦	〃	田 中 一 郎
〃	土 井 洋 子	〃	沢 口 功
〃	土 方 るみ子	監 事	中 西 芳 雄
〃	中 西 芳 雄	〃	四十宮 隆 志
〃	平 木 美 鶴	顧 問	長 尾 弘 子
〃	西 川 周 三	〃	河 崎 良 行
〃	伊 勢 浩 章		
〃	嵯 峨 潤 三		
〃	鈴 木 敬 子		
〃	上 野 照 文		
〃	橋 本 圭 祐		
〃	井 藤 光 章		
〃	林 敏 彦		
〃	増 田 寿		
〃	井 下 俊 作		
〃	居 上 真 人		
〃	上 月 佳 代		
〃	東 光 司		
〃	松 下 慶 一		
〃	森 賢 一		
〃	森 明 治		
〃	藤 井 哲 信		
〃	隅 田 英 二		
〃	竹 田 和 代		

令和3年度 各部役員名簿

日本画部

部会長	岡 英 彦
委 員	長 尾 弘 子
〃	西 野 和 男
〃	土 井 洋 子
〃	土 方 るみ子
〃	柳 田 一 子
〃	坂 容 子
〃	梶 浦 千 瑞
監 事	中 西 芳 雄
〃	日 浦 猛 史
事務局員	日 浦 猛 史
〃	柳 田 一 子

洋画部

部会長	平 木 美 鶴
委 員	榊 田 務
〃	西 川 周 三
〃	伊 勢 浩 章
〃	嵯 峨 潤 三
〃	鈴 木 敬 子
〃	二 條 均
〃	遠 藤 誠 一
〃	手 塚 てる子
〃	大 西 文 代
〃	杉 本 祥 子
〃	林 伸 也
監 事	伊 勢 浩 章
〃	鈴 木 敬 子
事務局員	西 川 周 三
〃	手 塚 てる子

写真部

部会長
委員

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

監 事

〃

事務局員

〃

上野 照文
橋本 圭祐
井藤 光章
林 敏彦
増田 寿弘
田村 泰弘
大和 健司
森住 博
川眞田 慶治
堀口 幸男
野藤 みきよ
梅本 貞範
岩崎 英昭
平野 史子
賀川 泰広
船越 正文
大津 勝治
武地 雅行
土橋 成行
野口 佳一
三木 理司
森内 昭男
田中 伸廣
井上 憲治
阿部 啓三
福田 勉之
吉田 隆之
岸田 義市
板東 よしお
熊谷 美智子
高橋 一恵
田村 泰弘
森住 博
井上 治
阿部 啓三

彫刻部

部会長
委員

〃

〃

〃

監 事

〃

事務局員

〃

井下 俊作
居上 真人
武田 亜希子
東 光司
木村 大志
上月 佳代
武田 亜希子
居上 真人
木村 大志

美術工芸部

部会長	松 下 慶 一
委 員	山 上 馨
"	七 條 猪三郎
"	矢 野 款 一
"	多智花 佐代子
"	森 賢 一
"	橘 惠
"	犬 伏 絢
"	斎 藤 和 彦
"	森 明 治
"	藤 井 哲 信
"	田 村 栄一郎
"	大 貝 貞 雄
"	松 本 宏
"	丸 居 哲 雄
"	福 本 美智代
"	長 尾 敏 子
"	上 田 優
"	内 藤 久 子
監 事	大 貝 貞 雄
"	田 村 栄一郎
事務局員	犬 伏 絢
"	松 本 宏

書道部

部会長	隅 田 英 二
委 員	青 木 東 原
"	赤 川 景 舟
"	朝 三 阜 如
"	阿 部 博 子
"	荒 井 彭 仙
"	和 泉 和 舟
"	井 上 虹 雨
"	岩 本 志 豪
"	上 田 輝 芳
"	上 野 益 泉
"	内 田 麻 紀
"	大 下 江 波
"	大 西 清 葩
"	岡 崎 啓 香
"	沖 田 唐 谷
"	折 野 佳 子
"	折 野 幸 峰
"	加 村 喜美子
"	亀 石 文 苑
"	川 上 虹 泉
"	河 野 真 流
"	河 野 多 美
"	川 端 康 清
"	川 村 春 琴
"	岸 緑 香
"	日 下 溪 翠
"	倉 本 景 雨
"	幸 田 清 尚
"	清 水 桂 月
"	下 村 清 子

委 員	鈴 江 美音子
"	鈴 木 恵 理
"	薄 田 玲 泉
"	高 瀬 大 峯
"	高 田 青 蓮
"	田 上 洋 香
"	高 柳 早 秀
"	武 市 鳴 雲
"	竹 田 和 代
"	武 田 玲 香
"	多 田 清 芳
"	玉 城 乾 香
"	玉 城 乾 舞
"	富 久 鳴 泉
"	中 尾 勝 子
"	長 原 皋 月
"	永 松 春 苑
"	中 村 春 岳
"	仁 木 志 香
"	西 谷 香 峰
"	能 仁 華 瑤
"	浜 佳 香
"	林 桂 翠
"	林 美 雪
"	平 岡 幽 琴
"	弘 田 長 風
"	福 永 美 泉
"	福 家 美 鵬
"	藤 村 柳 葉
"	藤 原 育 代
"	松 永 翠 月
"	丸 岡 春 曉

委 員	丸 田 恵 風
"	三 宅 葉 子
"	三 浦 富美代
"	南 溪 石
"	宮 守 崇 流
"	向 井 京 子
"	森 光 翔
"	森 本 成 玉
"	八 木 藍 玉
"	矢 部 知 子
"	山 口 華 城
"	山 口 幽 徑
"	山 本 景 琴
"	吉 田 翠 彩
監 事	折 野 幸 峰
"	弘 田 長 風
事務局員	長 原 皋 月
"	林 美 雪

デザイン部

部会長	坂 野 美恵子
委 員	福 井 章
〃	田 中 一 郎
〃	沢 口 功
〃	敷 島 のり子
〃	吉 本 實
監 事	山 内 典 子
〃	天 羽 宏 美
事務局員	四十宮 隆 志
〃	山野井 宏 宗

第 75 回徳島県美術展記録

一昨年延期となった第 75 回県展は、7 部門すべてが開催された。また 75 回を記念してプレイベント「現代アート展」が開催された。

現代アート展

現在ある 7 部門のジャンルや出品規定にそぐわない作品を募集。双方向性作品や映像作品、グループ作品等 41 点の応募があり 20 点が選ばれ展示された。

会 期 令和 3 年 6 月 22 日（火）～ 27（日）

10：00～16：30

会 場 あわぎんホール 2 階 特別展示室

入場無料

[審 査 員] 佐原 理 友井 伸一 松尾 誠司

[特 選] 喜田 智彦（徳島県美術家協会会長賞）

[準 特 選] 小浜かおり 藤森美恵子

[奨 励 賞] 工藤 遥 プラットアートプロジェクト実行委員会 戸根由祐子

[入 選] 板東 未記 前野 亮治 武田 直之 三井 均 横畠 寛

堀江 佳代（※ギャラリー賞） 彩嵐（SAIRAN） 手塚てる子

藤本 克子 中川 伸一 早瀬 太亮 清野 優奈⁽²⁾ 永田 広志

※ギャラリー賞：入賞作を除く入選作の中から来場者が投票して最多票の作品。



喜田智彦「融波」



現代アート展会場

第75回徳島県美術展

会 期 第1期 日本画・洋画・彫刻

令和3年10月 6日(水)～11日(月)

第2期 写真・美術工芸・デザイン

令和3年10月13日(水)～18日(月)

第3期 書道

令和3年10月21日(木)～25日(月)

10:00～16:30(最終日は16時まで)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)



感染対策を講じ開催された75回展(会場入口)

日本画

[審査員] 國司 華子

[特別出品] 西野 和男 岡 英彦

[招待] 土方るみ子 土井 洋子 中西 芳雄 日浦 猛史 柳田 一子
 反田 卓 坂 容子 梶浦 千瑞

[無監査] 石原 千鶴

[特選] 久保 守近(徳島県教育委員会教育長賞)
 植田 忠生

[準特選] 大久保楨宙 後藤田 実 藤井 吉信

[奨励賞]	近藤 芳治	谷 尚武	継岡 美怜			
[入選]	近藤 芳治	新居左よ子	富永 博子	中筋奈津子	吉村 敬子	
	西岡 ちほ	鍋島治世子	水田 貴子	秋月ヒサヨ	井上 弘子	
	中嶋 昌子	岩木 寿美	宮越 千佳	木内 仁美	関原 里桜	
	井上 花菜					

洋画

[審査員]	平岡 靖弘					
[特別出品]	梶田 務	平木 美鶴				
[遺作出品]	黒崎 志郎					
[招待]	清水 亟悞	露口 敏幸	西川 周三			
[賛助出品]	松川 寛	中辻奈美枝				
[無鑑査]	伊勢 浩章					
[特選]	大坪潤一郎 (徳島市長賞)					
	板井 義典	加賀谷愛美				
[準特選]	杉本 祥子	花菱 良一	小浜 敏也	小笠 正明	西村茉莉杏	
	富士原卓弘					
[奨励賞]	土橋 正子	笹田 義宏	小泉たか子	大垣 沙虹	田村 幸子	
[入選]	前野 亮治	伊勢谷昭博	大津 憲文	嵯峨 潤三	久保 和子	
	西條 敏夫	岩井 千晴	馬淵 博子	浅井 清司	大南 芳子	
	林 敏雄	手塚 充子	福井 摂哉	遠藤公美子	高橋 幸二	
	西崎 志帆	田中 宏和	為実美恵子	賀川紀美子	佐藤 敬子	
	松浦 一	三好 博子	武田 洋子	柳本 志保	後藤 和子	
	東條 博人	折目 早苗	三谷ミヤ子	川人 文代	瀬川 政子	
	遠藤 誠一	藤本 誠子	富本 勝子	犬伏美智子	金澤 和子	
	竹原 良亮	阿部 昌子	松本 勇夫	青木 幸子	林 静代	
	藤井 香世	加川由紀子	永野 耕一	宮内 一子	藏本百合子	
	高田千代恵	萩原 典子	三木田眞由美	福本 恵	井添 弘美	
	小川 日菜	堀田 豊子	服部 和代	内田 満	田村 秀子	
	杉村 良典	工藤 桂子	日野 邦恵	吉岡 毅	福良 哲子	
	宮田 京子	住友 洋士	森 幸江	西 広生	黒島 貞子	
	田村 克也	曾我部清美	長坂 芳子	村上 初江	大西 文代	
	河本多恵子	藤本眞佐子	松本 啓子	二條 均	横畠 寛	
	岡田 典子	小川 美輝	鹿山 公弘	西野 道夫	真柴 保男	

小倉満智子	川中比沙子	新藤佐代子	粟飯原満子	中村 俊夫
平野 幸子	近清 哲夫	岩井 春美	山上 和秀	今井 雅省
東原 綺子	平本 美緒	谷口 克子	菊本 静子	岡崎 恵
島田 純江	馬淵 尚子	野口 暁子	美馬 潤子	手塚てる子
坂東 富恵	小笠原秋子	林 伸也	長岡 芽生	前川智紗子
榊 和也	川上 晴美	手塚 晴菜	原 たず	鈴江空里子
藤本 千秋	丹野 光華	中村 恵一	黒川 彰子	海 人
野田 都萌	片山 珠希	勝間 楓弥	川原 胡桃	岸濱 里奈
泉 亜結莉	大迫百々香	川口 弥子	多田 彩音	立花 心
山根萌々香				

写 真

[審 査 員]	立木 義浩				
[特別出品]	上野 照文				
[遺作出品]	櫛淵 魏	勝西 雅夫			
[招 待]	木田 英之	三好 和義	森 賢一	橋本 圭祐	前浦 芳久
	林 敏彦	井藤 光章	増田 寿	柳本 正	大和 健司
	船越 正文	岩崎 英昭	久保 英樹	堀口 幸男	森住 博
	平野 史子				
[無 鑑 査]	多川 静守	野藤みきよ			
[特 選]	谷 ひづる (徳島新聞社長賞)				
	姫野 博司	住友 登	西岡まゆみ		
[準 特 選]	高橋 一恵	賀川 泰廣	平島 久嗣	井上 康子	信田 幸一
	田中 伸廣	田上 吉輝	阿部 啓三	八木 英一	
[奨 励 賞]	大津 勝治	水口 義行	ふじをかひでかづ	三谷美津子	庄野 里美
	山上 道子	井上 憲治	山上 堯		
[入 選]	木内 正大	川眞田慶治 ⁽²⁾	井奥 清次	野田 賢	大島 茂信 ⁽³⁾
	板東よしお	三谷美津子 ⁽²⁾	水口 ゆみ	武田 幸代	姫野 博司
	遠藤 博敏	山下 修司	八木 英一	福井 邦博 ⁽²⁾	佐治 孝
	福田 勉 ⁽²⁾	松浦 孝	河野 俊文	泉 清美	水口 義行
	岡 三希生	近藤 博之	圓藤由貴子	加藤 敬二 ⁽²⁾	大塚 尚
	鍋島治世子 ⁽²⁾	山田 喜吉	賀川 泰廣	林 和彦 ⁽²⁾	藤本 祐二
	佐藤美智子 ⁽²⁾	池田 啓子	佐々木 正	庄野 里美	竹内 一雅 ⁽²⁾
	岡本 満幸 ⁽²⁾	古岡 友子 ⁽⁴⁾	福原 敏雄	秋山 修一	阿部 啓三 ⁽²⁾

吉田 隆之	森内 昭男	野藤 敏美 ⁽³⁾	幾田 茂仁 ⁽²⁾	田上 吉輝 ⁽²⁾
鈴江 純史	大津 勝治 ⁽⁴⁾	柏原 史郎	西岡まゆみ	秋田 召旨
中野みどり ⁽²⁾	加藤 郁代	安丸 弘二 ⁽²⁾	山上 堯	山上 道子
河野 悟子 ⁽³⁾	吉村 敏嗣 ⁽⁴⁾	谷合 宗	笠井 孝純 ⁽²⁾	善成 敏子
熊谷美智子 ⁽²⁾	廣野美知子 ⁽³⁾	田中 伸廣	小原 英児 ⁽²⁾	高橋 一恵 ⁽²⁾
国見 良幸	井口 洋明	久保 朋也 ⁽²⁾	谷 ひづる ⁽²⁾	

彫 刻

[審 査 員]	常松 大純				
[特別出品]	河崎 良行	松永 勉	井下 俊作		
[招 待]	鎌田 邦宏	居上 真人	上月 佳代	武田亜希子	木村 大志
[特 選]	二宮 治夫	(四国放送社長賞)			
[準 特 選]	大貝 寿子	吉田 陽子			
[奨 励 賞]	小林 正則	東 光司			
[入 選]	森 克江	矢竹 敏昭	鈴江空里子 ⁽²⁾	山口 蒼	井高 湖春
	中西ほのか				

美術工芸

[審 査 員]	山下 義人				
[特別出品]	七條猪三郎	松下 慶一			
[遺作出品]	松下 雄介				
[招 待]	多智花佐代子	森 賢一	橘 恵	犬伏 絢	斎藤 和彦
	森 明治	藤井 哲信			
[無 鑑 査]	丸居 哲雄	松本 宏			
[特 選]	大貝 寿子	(徳島県美術家協会会長賞)			
	楠 博子				
[準 特 選]	前野 亮治	田村栄一郎	久保 英樹	宮本 真弓	
[奨 励 賞]	上田 優	住 廣子	尾藤 芳尚		
[入 選]	石井 春夫	柴 純代	棚橋 美穂	長尾 敏子 ⁽²⁾	高橋 正昭
	金澤 博子	家形笑美子	三橋 玄児	桜井 慎治	川村 桂子
	青木 壽美	中山 愛子	平瀬 進也	篠原 安雄	丸井 明
	平尾 静子	大貝 寿子	清原 眞弓	長尾賀代子	石口 明美

越 由子	吉田 陽子	阿部 能則 ⁽²⁾	井上 英子	川島 千鶴
板東 啓子	美馬 吉彦	山側 芳子	原田 明子	元井 真紀
鳥井 明子	藤中 教代	宇都宮二美	大内 敏男	大貝 貞雄
細川ひとみ	山本 由実	島本 政子	原口 英毅	杉原 悦子 ⁽²⁾
近藤佐起江	向 紫	近藤美佐子	小林 清重	濱口 正義
高瀬 裕司	石川 眞一	四十宮年代	久保 英樹 ⁽³⁾	福本美智代
遠藤 勇	手塚 健一 ⁽²⁾	上久保佳子	野口加代子	小笠原久美子
遠藤 好子 ⁽²⁾	田村 進	仁田 和子	久米 利雄	松本みづる
前川 政秀	富永 裕子	高橋 輝美 ⁽²⁾		

書 道

[審 査 員]	真神 巍堂	舟尾 圭碩	鈴木 不倒		
[特別出品]	荒井 彭仙	隅田 英二			
[遺作出品]	東 南光	中谷 史子	宮井 青雨		
[招 待]	清水 桂月	川上 虹泉	日下 溪翠	竹田 和代	山口 華城
	武市 鳴雲	中尾 勝子	富久 鳴泉	永松 春苑	島田 小園
	浜 佳香	多田 清芳	玉城 乾香	薄田 玲泉	能仁 華瑤
	高田 青蓮	宇山 泰鳳	亀石 文苑	岩本 志豪	林 桂翠
	山口 幽径	米澤 東籬	戸出 芳泉	平岡 幽琴	宮守 崇流
	詫間 勝陽	向井 京子	川村 春琴	谷本 藍泉	林 美雪
[無 鑑 査]	上田 輝芳	矢部 知子	玉城 乾舞	中川 観山	松永 翠月
[特 選]	佐野 陽子 (徳島県知事賞)				
	長井あゆみ	田中 育子	河野多美子	森 裕美子	糀 真理子
	川又 敏香	大西千鶴子			
[準 特 選]	赤松 信映	新瀨啓太郎	石井 瞳	三好 恵子	岡部ひとみ
	一宮 明美	寺澤 歩花	松本由希子	山本 恵子	内田 麻紀
	森崎佐和子	岸 緑	児玉 幸子	佐藤由紀代	
[奨 励 賞]	田中 偉嗣	佐竹 夏実	木村 礼子	野口 有香	古川 恵巳
	田渕 勲	向井 境子	脇坂 優	田岡佐記子	栗林 和江
	谷本富美世	吉田さい子	大坂 昌代		
[入 選]					
漢字・篆刻	佐藤 美和	横田 典子	楠本 俊枝	脇 博	吉田 陽子
	森口 月美	多智花郁子	泉川真理子	小笠 英文	木内 文子

先山 明美	田尾 幹司	清水 宏子	後藤真里奈	細井 守
三谷 展子	近藤 紀子	加川 翔子	大東シズヨ	青木 博美
近藤 美香	阿部 千明	谷 弘美	熊代 厚子	向井ひろみ
鳩成 広美	佐々 京子	藤山真由里	後藤 紀代	堀江 孝己
大塚 洋子	森本 裕子	阿部 英恵	仁木 輝実	安友 彰子
吉村 敬子	西岡田さつき	森川のぞみ	沖田 章代	山城美三子
香川百々花	奥田 文子	中川恵美子	山中 佳子	丸岡 真弓
大西 英徳	佐渡 佳子	逢坂優妃奈	吉田 幸代	三木 孝之
斎藤須美代	並木 桃果	佐々木泰明	畠山ゆかり	由宇 典代
吉岡 逸子	田村 元帥	谷内 直美	市原マサ子	山口 康夫
西 朱理	澤本 鈴美	節 品子	河野久美子	八木 澄江
寺田 美穂	上田美千代	北村 浩子	谷本真由美	櫻木貴美子
阿部 和彦	井元 京子	妹尾 寛子	安友 孝宣	三好 元子
林 美穂子	木田美佐子	井野めぐみ	丸岡 由美	中村 美子
谷 令子	山口 幸子	吉田 鈴子	林 幸子	豊永 千鶴
篠原 千明	久米 利典	鎌谷 幸代	深薮 美雪	手塚 浩美
光山 実沙	折野 茂幸	大下 富江	大野シゲ子	上野 益代
岡本美津代	西改 俊子	四宮 仁美	陶久 房枝	杉本 妙子
三崎美佐代	村部 幸子	柳本 真弓	馬居美智恵	日野出夏穂
鈴木エリ子	新見 辰馬	春藤 真紀	井上 公子	弘田 敏章
田上 洋子	稲井 知子	柏尾美恵子	山下弥栄子	吉田 憲弘
岩本 義浩	恵美 恵子	園尾 淑子	伊達三智子	多田みどり
磯川 味佳	安丸 順子	野村佳余子	島 智子	田中 利子
荒井 和子	田中 夕貴	吉倉 鉄雄	仁木 彩愛	塩田 龍澄
麻植 柚花	竹内 綾菜	木村 昌代	松本 美代	福家 佳余
藤永 真里	稲木 裕美	市原 美希	板東 亜美	後藤 佳美
四宮 千春	辻 尚子	巽 由紀	吉平 順子	檜原 知明
郡 秋江 (以上漢字)				
吉村 敬子	松村 史子	青木 幸代	蓑毛 真琴 (以上篆刻)	

仮 名

佐藤 佳子	宮内 礼子	山蔭 和代	檜原 知義	小川美由紀
阿部 洋子	山本 美幸	佐野 久美	濱口須美子	豊田 直美
本川 恵子	一ツ松真弓	豊岡真由美	仁井 和美	井上 まり
吉田 純	赤川久美子	井上 彰夫	高橋加奈子	廣瀬 久代
村上 洋子	倉本 節子	背川 章子	松下 智子	近藤真千子
芳田 知子	久住 律子	中筋 良江	関根 史子	野木 友美

費田美恵子	伊藤 秀子	阿部 博子	井上小百合	折野 佳子
古谷 和代	杉本 裕子	寺尾 俊通	尾田 知恵	平尾 卓美
今津 英子	濱口 恵	三好 育子	西岡 幹朗	篠賀 知代
長野 勇輝	竹内 友里	岩佐 万葉	三原 明美	林 英子
寒田 祐奈	和泉かず子	大久保雅子	笠原小夜子	坪井 佳代
加村喜美子	中川 年代	三宅 葉子	河野さち子	馬地 理恵
笹田 真里	鈴江美音子	出口末喜子	岩田美由希	森本 明美
吉岡 三枝	内田 道幸	内田美代子	村田登志子	坂本 敬子
中村 公子	金子 博明	町田 哲子		

近代詩文

賀上 宏実	樫山 正代	川端喜美子	木田 史子	金城 泰子
栗山 弘子	幸田 康代	坂尾 俊一	佐々木花凜	佐藤 恵子
清水美津子	高瀬 善郎	高橋 三紀	高橋美知江	武市 絢子
武田 淳子	玉城 安和	玉城 豪	田村 知恵	富永美知子
長尾由美子	長原 七与	仁木シモエ	野田 満代	坂東 裕美
日野美佐子	藤村 良枝	藤本 優子	正見 千恵	松村 雅子
丸田 三恵	森 繁子	森岡嗣雅子	森本知世子	森本 陽子
山本 勇	横関久美子	和田 悦代	和田富美子	朝三 和子
荒井 弥和	生野 久美	今治 宏美	居和城幸代	岩崎 麻美
遠藤玻都恵	大井 多栄	岡崎 啓子	小野 幸久	

前 衛

梶川 佳奈	永井 厚子	村田 泰輝	大西 英徳	大胡恵里香
大胡 真美	長崎 香	仁尾 みや	水野 知子	前川わかな
林 歩花	川村 莉央	嵯峨 衣織	中川 博雅	義富 博正

デザイン

[審査員] 対馬 肇

[特別出品] 田中 一郎 坂野美恵子

[招待] 斎藤 繁次 敷島のり子 斎藤 剛 四十宮隆志 沢口 功
斎藤志津子

[特選] 小川 日菜 (徳島県議会議長賞)
山本 愛莉

[準特選] 岩佐 桃花 坂田 七海 佐藤あすか

[奨励賞] 吉村 敏嗣 栗飯原 稜 山崎 百絵

[入選] 松島 早紀 斎藤 信子 枋谷日菜子 花菱 良一 藤井ひなた
槇尾 巴那 山野井宏宗 信田 幸一 佐藤あすか 米田 遥
熊谷美智子 大東かのん 高橋 陽愛 田岡 紗季 田中 公代
渡邊 加奈 福本 光琉 小林 鈴花 黒田結梨華⁽²⁾ 山本 心結
森木 彩巴 林 心愛 笹橋 菜那 圓藤 美希⁽²⁾ 天羽 姫凜
溝口明日香

第 75 回徳島県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		40	265	461	20	129	609	59	1,583
出 品 者 数		33	202	136	19	88	361	41	880
入 賞 ・ 入 選	特 別 賞	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(7)
	特 選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準 特 選	3	6	9	2	4	14	3	41
	奨 励 賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入 選 数	16	126	107	7	71	287	28	642
	計	24	140	128	12	80	322	36	742
	入 選 率	60.0	52.8	27.8	60.0	62.0	52.9	61.0	46.9
選 外	落 選 数	16	125	333	8	49	287	23	841
無 審 査 出 品	特別出品	2	2	1	3	2	2	2	14
	招 待	8	3	16	5	7	30	6	75
	無 鑑 査	1	1	2	0	2	5	0	11
	賛助出品	0	2	0	0	0	0	0	2
	遺作出品	0	1	2	0	1	3	0	7
計		11	9	21	8	12	40	8	109
展示数		35	149	149	20	92	362	44	851

※ 各部門の特選数は特別賞 1 点を含む

第 75 回徳島県美術展公募規定

部門 区分	日本画	洋 画	写 真	彫 刻
搬入日	9月26日(日)	9月24日(金) 25日(土)	10月2日(土)	9月26日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館) 3階展示室			
審査日	9月26日(日)	9月26日(日)	10月3日(日)	9月26日(日)
審査員	國司 華子	平岡 靖弘	立木 義浩	常松 大純
出品料	協会員 1 点目 4,000 円 その他の方 5,000 円 高校生 2,500 円 2 点目からはすべて 1,500 円			
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は 1 人 5 点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない 最小が額縁の幅を除いた画面の縦横の長さが 70.0 センチメートル×47.0 センチメートル以上で、最大が額縁の幅を含めた縦横の一边の長さが 190.0 センチメートル以内 堅牢なるパネル等を使用の上、額装とする パネル等の裏面には吊り紐をつけること パネルや画面が額より出ないこと アクリル・ガラス等で画面上を覆わないこと (ただし、水彩画、版画はアクリルに限って認める) 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 洋画 20 号(72.7cm×50cm)～60 号(130.3cm×97cm)までとする S 型は 30 号(91cm×91cm)までを上限とし、版画は八つ切額(30.3cm×24.2cm)以上とする アクリル、ガラス等で画面上を覆わないこと (ただし、水彩画、版画はアクリルに限って認める) 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること 単写真、組写真とも半切(A3 含む)から全倍(90cm×60cm) 画面の長辺は 40cm 以上 90cm 以内 スクエアサイズ(正方形)は一辺が 30cm 以上 60cm 以内 組写真は 90cm×180cm 以内に全作品を固定(不安定な作品の場合受け付けが来ないことがあります) 作品は必ずパネル貼りし、額装及びガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取りは不可 デジタル写真の合成・加工の出品制限はしませんが、出品票などにその旨を必ず明記すること。入賞などの場合は元データなどの提出を求めることがあります(自然風景、ネイチャーなどは基本、合成・加工などは禁止します) 高さ 2 × 幅 1.82 × 奥行 1.5m 以内、重量 200kg 以内 (上記サイズを超える作品は屋外展示とする) 材料等は自由、展示可能な作品に限ります			
入賞	特 選 2 点 (特別賞 1 点) 準特選 3 点 奨励賞 3 点以内	特 選 3 点 (特別賞 1 点) 準特選 6 点 奨励賞 5 点以内	特 選 4 点 (特別賞 1 点) 準特選 9 点 奨励賞 8 点以内	特 選 1 点 (特別賞 1 点) 準特選 2 点 奨励賞 2 点以内

部門 区分	美術工芸	書 道	デザイン
搬入日	9月26日(日)	9月28日(火)	10月3日(日)
搬入場所	あわぎんホール(県郷土文化会館) 3階展示室		
審査日	9月26日(日)	9月29日(水) 30日(木) 10月1日(金)	10月3日(日)
審査員	山下 義人	真神 颯堂・舟尾 圭碩・鈴木 不倒	対馬 肇
出品料	協会員 1 点目 4,000 円 その他の方 5,000 円 高校生 2,500 円 2 点目からはすべて 1,500 円		
出品制限・大きさ・仕上げ	・未公開作品に限る ・写真部門は 1 人 5 点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない ・立体作品は、50cm 立方換算以内(たて×よこ×おくゆきが 125,000 立方 cm 以内)とする 但し、たて 100cm・よこ 100cm・おくゆき 100cm 以内とする ・平面作品は、150cm 平方換算以内(たて×よこが 22,500 平方 cm 以内)とする 但し、たて 180cm・よこ 150cm 以内とする 木、竹、金工、陶磁、漆、染色、織物、人形、ガラス等とし、展示できる用具を必ずつけることとする 半切又は全紙 1/2 以上、仕上がり面積 1.47㎡(16 平方尺)以内で縦・横自由 巻子・帖は 40cm×300cm 以内 篆刻は印影とし、タテ 39cm×ヨコ 30cm 以内の額装に限る (例) 61cm (2 尺) × 242cm (8 尺) 枠張りに限る 79cm (2.6 尺) × 181cm (6 尺) " " 91cm (3 尺) × 161cm (5.3 尺) " " 121cm (4 尺) × 121cm (4 尺) " " 半切・全紙 1/2・連落まで額装アクリル入りでもよい 無鑑査以上の出品者は半切・全紙 1/2 以内、横幅 90cm 以内とする 次の部門に属する作品とする ①漢 字 (臨書不可)・篆刻 (模刻不可) ②仮 名 (臨書不可) ③近代詩文書 ④前 衛 (文字を表現したもの) それぞれ釈文をつけることとする B 1 サイズ(728×1,030mm)で厚さ 5～75mm、外枠(幅 20mm 以内)を含めた重さが 5kg 以内とする イラストレーション・グラフィックデザインとし、原画の材質は問わないが、ガラス額装は不可 実在の商品名、会社名等は不可とし、著作権・肖像権に触れないこと 吊り紐をつけることとする		
入賞	特 選 2 点 (特別賞 1 点) 準特選 4 点 奨励賞 3 点以内	特 選 8 点 (特別賞 1 点) 準特選 14 点 奨励賞 13 点以内	特 選 2 点 (特別賞 1 点) 準特選 3 点 奨励賞 3 点以内

徳島県美術展審査員一覧

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46回まで彫塑)
1		委 員	野 間 仁 根 冢 永 三 郎	委 員	
2		大 栗 旌 仟	野 間 仁 根	上 田 備 山	太 坂 田 東 三 支 郎 夫 太 坂 田 東 三 支 郎 夫
3		委 員	伊 原 宇三郎	同 上	太 坂 田 東 三 支 郎 夫
4		委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5		上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	太 坂 田 東 三 支 郎 夫
6		西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7		山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8		池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	太 坂 田 東 三 支 郎 夫
9		水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10		管 楯 彦	鈴 野 木 信太郎 野 間 仁 根	同 上	同 上
11		奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12		浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13		小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	辻 東 晋 堂
14		秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15		奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16		同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17		松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18		矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周三郎
19		中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20		曲 子 光 雄	桂 ムキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21		沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22		堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23		松 岡 政 信	山 下 大五郎	同 上	井 上 武 吉
24		山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄
25		奥 村 厚 一	斉 藤 真 成	同 上	原 武 典
26		梶 喜 一	島 村 三七雄	同 上	掛 井 五 郎
27		上 原 卓	高 田 誠	伊 藤 知 己	松 村 外次郎
28		黒 光 茂 樹	中 間 冊 夫	岩 宮 武 二	小 畠 広 志
29		松 岡 政 信	島 田 章 三	同 上	保 田 春 彦
30		黒 光 茂 樹	田 中 岑	岩 宮 武 二	篠 崎 明 雄
31		河 合 健 二	田 中 忠 雄	同 上	江 口 週
32		長谷川 青 澄	山 口 長 男	岩 宮 武 二 岩 宮 武 二	一 色 邦 彦
33		松 岡 政 信	吉 井 忠	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
34		山 岸 純	小 西 保 文	岩 宮 武 二	清 水 九兵衛
35		樋 笠 数 慶	荻 太 郎	同 上	桜 井 祐 一
36		坂 口 麻沙子	吉 井 淳 二	岩 宮 武 二	土 谷 武
37		下 田 義 寛	野見山 暁 治	同 上	山 本 正 道
38		同 上	須 田 寿	高 田 誠 三	清 水 九兵衛

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
鬼塚 信之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭 山 南 木 ・ 織 田 子 青	
同 上	手 島 右 卿	
鬼塚 信之 新田 藤太郎	同 上	
鬼塚 信之	小 坂 奇 石	
明 石 朴 景	辻 本 史 邑	
会 田 裕 宣	織 田 子 青(漢) ・ 出 口 草 露(仮)	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近 藤 悠 三	荒 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・後藤田 香 石 田 中 双 鶴・田 中 栢 翠・富 永 眉 峰	
平 松 宏 春	同 上	
同 上	荒 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・後藤田 香 石 田 中 双 鶴・田 中 栢 翠・富 永 眉 峰	
大 西 忠 夫	荒 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・後藤田 香 石 田 中 双 鶴・田 中 栢 翠・富 永 眉 峰	
明 石 朴 景	同 上	
平 松 宏 明	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平 松 宏 春	同 上	
内 田 邦 夫	同 上	
山 脇 洋 二	同 上	
槻 尾 宗 一	同 上	
山 脇 洋 二	荒 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・田 中 栢 翠 富 永 眉 峰	
藤 本 能 道	同 上	
三 井 安 蘇 夫	同 上	金 野 弘
六 角 颯 雄	同 上	大 智 浩
鈴 木 貫 爾	同 上	早 川 良 雄
田 村 耕 一	同 上	原 弘
山 脇 洋 二	荒 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・田 中 双 鶴 田 中 栢 翠・富 永 眉 峰	田 中 一 光
浅 野 陽	同 上	奥 野 秀 雄
前 田 泰 次	同 上	灘 本 唯 人
山 脇 洋 二	同 上	大 高 猛
中 村 光 哉	荒 井 天 鶴・久 保 幽 香・讚 岐 泰 泉・田 中 双 鶴 田 中 栢 翠・富 永 眉 峰・新 居 藍 州	福 田 繁 雄
山 脇 洋 二	同 上	永 井 一 正
田 村 耕 一	荒 井 天 鶴・田 中 栢 翠 富 永 眉 峰・西 岡 中 双 楚 鶴・田 中 栢 翠	山 城 隆 一
田 村 耕 一	荒 井 天 鶴・田 中 栢 翠 富 永 眉 峰・西 岡 中 双 楚 鶴・田 中 栢 翠	粟 津 潔
山 下 恒 雄	荒 井 天 鶴・田 中 栢 翠 富 永 眉 峰	田 中 一 光

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46 回まで彫望)
39		下 田 義 寛	斉 藤 真 一	高 田 誠 三	城 田 孝一郎
40		下 保 昭	津 高 和 一	嵯 富 武 三	清 水 良 治
41		橋 田 二 朗	小松崎 邦 雄	奈良原 一 高	淀 井 敏 夫
42		松 本 哲 男	国 領 經 郎	岩 宮 武 二	木 津 一 夫
43		山 岸 純	利根山 光 人	三 木 淳	橋 本 省
44		平 川 敏 夫	赤 穴 宏	高 田 誠 三	山 崎 猛
45		福 井 爽 人	桜 井 寛	三 木 淳	土 谷 武
46		岩 沢 重 夫	大 森 朔 衛	同 上	峯 田 敏 郎
47		穂 田 一 稗	谷 本 重 義	立 木 義 浩	小 島 弘
48		田 淵 俊 夫	大 沼 映 夫	杵 島 隆	建 畠 覚 造
49		中 路 融 人	馬 越 陽 子	同 上	綿 引 道 郎
50		下 田 義 寛	三 栖 右 嗣	奈良原 一 高	古 島 実
51		工 藤 甲 人	中 根 寛	斉 藤 康 一	恩 田 静 子
52		那波多目 功一	松 樹 路 人	細 江 英 公	石 井 厚 生
53		那 須 勝 哉	藤 田 吉 香	高 田 誠 三	香 浦 有 爾
54		内 田 あぐり	奥 谷 博	同 上	小 林 陸一郎
55		松 尾 敏 男	佐々木 豊	大 石 芳 野	日 原 公 大
56		山 崎 隆 夫	大 津 英 敏	同 上	石 黒 鏑 二
57		岩 本 和 夫	山 本 貞	細 江 英 公	原 武 典
58		大 矢 紀	福 島 瑞 穂	江 成 常 夫	菅 原 二 郎
59		竹 内 浩 一	中 山 忠 彦	大 石 芳 野	米 林 雄 一
60		小 嶋 悠 司	絹 谷 幸 二	江 成 常 夫	北 郷 悟
61		宮 廻 正 明	山 本 文 彦	同 上	鈴 木 久 雄
62		能 島 和 明	島 田 鮎 子	英 伸 三	中 垣 克 久
63		雲丹亀 利 彦	桜 井 寛	田 沼 武 能	林 武 史
64		西 田 俊 英	塗 師 祥一郎	同 上	津 田 裕 子
65		岡 村 倫 行	金 山 佳 子	三 好 和 義	建 畠 朔 弥
66		宮 いつき	大 津 英 敏	江 成 常 夫	深 井 隆
67		小 山 硬	笠 井 誠 一	大 石 芳 野	湯 村 光
68		土 屋 禮 一	佐 藤 泰 生	大 石 芳 野	保田井 智 之
69		上 村 淳 之	池 田 清 明	織 作 峰 子	村 井 進 吾
70		中 島 千 波	堀 研	江 成 常 夫	三 沢 厚 彦
71		中 野 嘉 之	久 野 和 洋	三 好 和 義	木 戸 修
72		村 岡 貴美男	森 本 勇	大 西 みつぐ	國 安 孝 昌
73		西久松 吉 雄	室 越 健 美	大 石 芳 野	井 田 勝 己
74		宮 北 千 織	湯 山 俊 久	立 木 義 浩	黒 川 弘 毅
75		國 司 華 子	平 岡 靖 弘	立 木 義 浩	常 松 大 純

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
山下 恒 雄	荒 井 天 鶴・田 中 双 鶴・田 中 栢 翠 富 永 眉 峰	長 友 啓 典
浅 野 陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿・高原清泉 田中双鶴・田中栢翠・長江清幽・新居藍州・西岡楚峰	亀 倉 雄 策
中 村 光 哉	明 石 春 浦・坪 井 正 庵	伊 藤 憲 治
浅 野 陽	桜 井 琴 風・黒 野 清 宇	サイトウ・マコト
山下 恒 雄	大 岡 皓 崖・山 田 伍 雲・西 野 象 山	佐 藤 晃 一
三 浦 小平二	花 田 峰 堂・小 山 素 洞・東 地 滄 厓	河 北 秀 也
松 永 勲	浅 見 綿 龍・森 本 妙 子・加 藤 大 碩	松 永 真
山下 恒 雄	近 藤 摂 南・東 山 一 郎・中 野 北 溟	浅 葉 克 己
島 田 文 雄	谷 村 憲 齋・植 村 和 堂・太 田 義 久	勝 井 三 雄
大 西 長 利	安 原 皐 雲・池 田 桂 鳳・金 子 卓 義	五十嵐 威 暢
山下 恒 雄	鈴 木 桐 華・西 本 支 星・金 子 聰 松	青 葉 益 輝
島 田 文 雄	尾 崎 邑 鵬・井 茂 圭 洞・大 井 錦 亭	松 永 真
中 井 貞 次	栗 原 蘆 水・榎 倉 香 邨・種 谷 扇 舟	安 西 水 丸
栗 木 達 介	甫 田 鷄 川・小 山 やす子・石 飛 博 光	U. G. サトー
宮 田 亮 平	杭 迫 柏 樹・藤 木 正 次・吉 田 成 堂	早 川 良 雄
松 永 勲	津 金 孝 邦・池 田 桂 鳳・松 永 暘 石	戸 田 正 寿
竹 内 順 一	田 中 節 山・村 上 俄 山・黒 田 玄 夏	杉 浦 康 平
栗 木 達 介	宮 崎 葵 充・赤 江 華 城・金 子 卓 義	秋 山 孝
中 井 貞 次	星 弘 道・宮 重 小 蘭・西 野 象 山	遠 藤 享
島 田 文 雄	吉 川 蕉 仙・清 水 透 石・作 田 英 嗣	中 村 誠
竹 内 順 一	岩 井 韻 亭・光 宗 道 子・大 井 錦 亭	小 島 良 平
宮 田 亮 平	伊 藤 天 游・井 茂 圭 洞・田 岡 正 堂	永 井 一 正
島 田 文 雄	稲 垣 菰 圃・横 山 煌 平・船 本 芳 雲	新 島 実
増 村 紀一郎	樽 本 樹 邨・東 山 一 郎・辻 元 大 雲	三 木 健
石 川 充 宏	真 神 巍 堂・前 島 泉 洲・長谷川 牧 風	松 井 桂 三
竹 内 順 一	鈴 木 春 朝・山 本 高 邨・砂 本 杏 花	河 北 秀 也
山下 了 是	大河内 仙 嶽・師 田 久 子・飯 高 和 子	勝 井 三 雄
大 樋 年 朗	土 井 汲 泉・舟 尾 圭 碩・百 瀬 大 蕪	佐 藤 晃 一
宮 田 亮 平	西 村 自 耕・岩 永 栖 邨・西 野 象 山	新 村 則 人
豊 福 誠	今 村 桂 山・横 山 煌 平・森 本 龍 石	福 島 治
若 山 裕 昭	渡 部 清・田 頭 一 舟・鈴 木 まつ子	秋 山 孝
山下 義 人	鬼 頭 墨 峻・吉 川 美恵子・小 竹 石 雲	伊 藤 豊 嗣
中 井 貞 次	西 嶋 慎 一・山 根 互 清・渡 部 會 山	松 下 計
若 山 裕 昭	新 井 光 風・村 上 俄 山・室 井 玄 聳	杉 崎 真之助
島 田 文 雄	伊 藤 一 翔・岡 田 直 樹・井之上 南 岳	川 上 佳 代
大 樋 年 雄	吉 澤 鐵 之・高 木 厚 人・永 守 蒼 穹	居 山 浩 二
山下 義 人	真 神 巍 堂・舟 尾 圭 碩・鈴 木 不 倒	対 馬 肇

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」で構成する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から2名の合計20名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社3名の計4名で構成する。事務局の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。
7. その他県展開催の下準備に関すること。

第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。

- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。

- (3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）

- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

（注）① 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

- ② 75回展以降の奨励賞については2回の取得をもって準特選1回として扱う。

なお無鑑査を得る場合の上記(3)及び(4)の回数計算において余分な奨励賞が算出された場合は切り捨て（無効）とし、無鑑査を超えての算入はしない。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、審査員及び各部の会長。

- (2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得たもの。

（注）招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。天災や審査員の特別な事情で審査が行えない場合は各部会の運営委員が運営委員長と協議の上、新たな審査員を決定する。

第7条（審査）

審査は公開により行う。

第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

区 分	特 選	特別賞（特選の中から1点）	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	徳島県教育委員会教育長賞	3	3以内	規定数
洋 画	3	徳 島 市 長 賞	6	5 "	"
写 真	4	徳 島 新 聞 社 長 賞	9	8 "	"
彫 刻	1	四 国 放 送 社 長 賞	2	2 "	"
美術工芸	2	徳島県美術家協会会長賞	4	3 "	"
書 道	8	徳 島 県 知 事 賞	14	13 "	"
デザイン	2	徳 島 県 議 会 議 長 賞	3	3 "	"

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

2. 入賞は1部門1人1賞とする。

第9条（表 彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、記念品
2. 準特選……賞状、記念品
3. 奨励賞……賞状
4. 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1名
2. 徳島県議会議長賞 1名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1名
4. 徳島市長賞 1名
5. 徳島新聞社長賞 1名
6. 四国放送社長賞 1名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料

3. 図録売り上げ代金及び広告料
4. 各種補助金
5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年 12 月に決算を行い、運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第 11 条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1 点目 4,000 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
2. 一般の方の出品料は、1 点目 5,000 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
3. 高校生の出品料は、1 点目 2,500 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
4. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は 1 点 4,000 円とする。

第 12 条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 600 円 | 当日 800 円 |
| 2. 高 校 生 | | 無料 |

第 13 条（附 則）

本要項の規定は昭和 61 年 9 月から実施する。

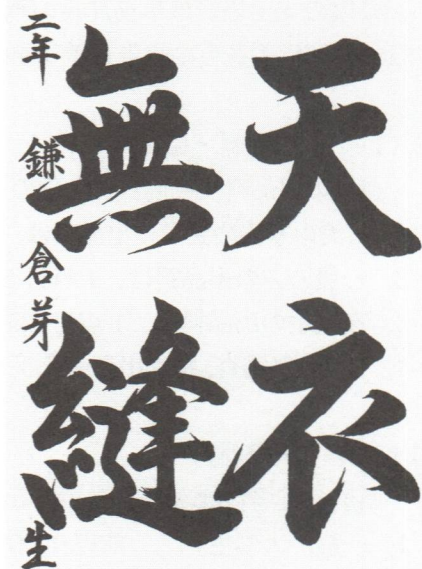
本要項の改訂、修正は運営委員の 3 分の 2 以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成 4 年 2 月 22 日	一部改正
平成 4 年 5 月 16 日	一部改正
平成 8 年 5 月 25 日	一部改正
平成 11 年 5 月 14 日	一部改正
平成 13 年 5 月 30 日	一部改正
平成 14 年 9 月 25 日	一部改正
平成 17 年 6 月 14 日	一部改正
平成 18 年 4 月 11 日	一部改正
平成 23 年 2 月 20 日	一部改正
平成 24 年 2 月 24 日	一部改正
平成 25 年 8 月 20 日	一部改正
平成 26 年 8 月 6 日	一部改正
平成 27 年 2 月 18 日	一部改正
令和 3 年 3 月 1 日	一部改正

第17回徳島県こども美術展



↑ 〈徳島県知事賞〉鳴門市第一中学校 1年 大毛 舞羽



〈徳島県知事賞〉半田中学校 2年 鎌倉 芽生 →

一般展 特別賞

賞	絵 画	書 写
徳島県知事賞	鳴門市第一中学校 1年 大毛 舞羽	半田中学校 2年 鎌倉 芽生
徳島県議会議長賞	城ノ内中等教育学校 2年 平良 美嘉	三野中学校 1年 原田 海希
徳島県教育委員会教育長賞	鳴門市第一小学校 5年 松永 隼門	半田中学校 2年 吉永ひなの
徳島県市町村教育委員会 連合会会長賞	阿南中学校 1年 阿井 朝子	半田小学校 4年 師水 咲和
徳島県美術家協会会長賞	城ノ内中等教育学校 3年 小川 明莉	板野東小学校 2年 秋山 奏和
徳島新聞社長賞	鳴門東小学校 5年 福池 葵	半田小学校 1年 岡 樹生

特別企画展 特別賞

【絵 画】

遠藤 未絵（横見小1） 岩浅 詩（富岡小2） 堤 真衣（板東小3） 金澤 稟（助任小4）
 杉本 果穂（鳴教大付小5） 澤本 昂我（鳴教大付小6） 山尾 豪（阿南第一中1） 田近 智彬（鳴教大付中2）
 天田 芹奈（生光学園中3）

【書 写】

鎌倉 歩生（半田小1） 岡 結子（半田小2） 尾脇 舞（池田小3） 安藝 魁真（生光学園小4）
 三木希望美（林小5） 鎌倉 花瓜（半田小6） 三井 輝星（池田中1） 鎌倉 芽生（半田中2）
 井上 梓美（江原中3）

第 17 回徳島県こども美術展出品・入選等状況

会 期 10月22日(金)～10月26日(火)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

入場者数 2,683 人

出品・入選等状況

【絵画部門】

※特選に特別賞を含む

種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品							
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	入選合計	入選率(%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	入選合計	入選率(%)	佳作	
小学生	1年	626	2	2	21	56	81	12.94	66	115	1	4	12	17	14.78	14	
	2年	670	2	2	22	51	77	11.49	66	147	1	5	7	13	8.84	15	
	3年	620	2	2	21	46	71	11.45	89	210	1	8	15	24	11.43	17	
	4年	469	2	2	29	53	86	18.34	58	178	1	6	14	21	11.80	19	
	5年	501	2	2	24	49	77	15.37	57	192	1	10	9	20	10.42	17	
	6年	403	2	2	12	33	49	12.16	43	201	1	8	18	27	13.43	20	
中学生	1年	170	2	2	8	24	36	21.18	18	101	1	3	9	13	12.87	13	
	2年	220	2	2	4	38	46	20.91	23	73	1	4	9	14	19.18	10	
	3年	173	2	2	4	22	30	17.34	8	33	1	2	3	6	18.18	10	
計		3,852	18	18	145	372	553	14.36	428	1,250	9	50	96	155	12.40	135	

【書写部門】

※特選に特別賞を含む

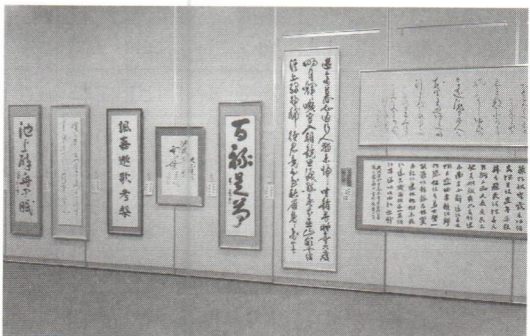
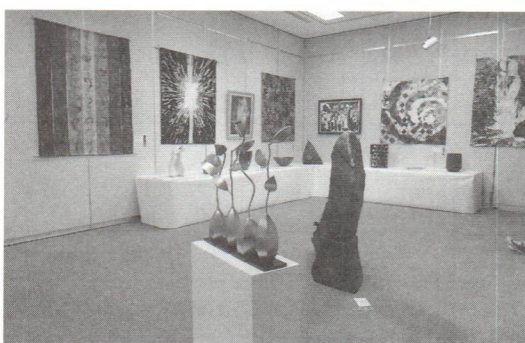
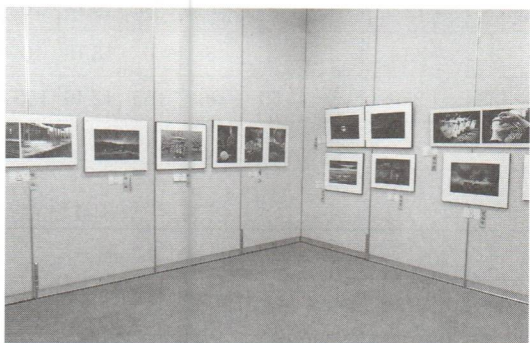
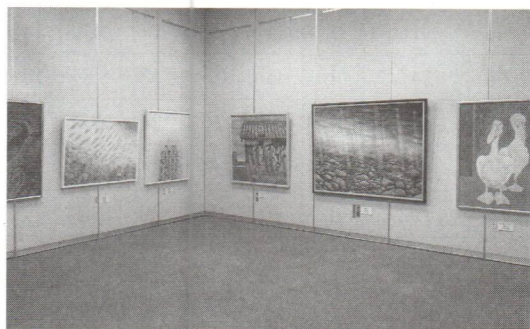
種 別		一 般 展 出 品								特 別 企 画 展 出 品							
学 年		作品数	特選	準特選	優秀賞	入選	入選合計	入選率(%)	佳作	作品数	特別賞	優秀賞	入選	入選合計	入選率(%)	佳作	
小学生	1年	331	2	2	9	22	35	10.57	31	363	1	10	24	35	9.64	34	
	2年	555	2	2	16	36	56	10.09	48	560	1	16	36	53	9.46	52	
	3年	883	2	2	25	58	87	9.85	82	1,244	1	35	84	120	9.65	116	
	4年	834	2	2	23	55	82	9.83	77	967	1	27	63	91	9.41	90	
	5年	752	2	2	21	50	75	9.97	69	733	1	21	48	70	9.55	69	
	6年	596	2	2	17	38	59	9.90	56	708	1	20	43	64	9.04	66	
中学生	1年	318	2	2	9	21	34	10.69	27	241	1	7	16	24	9.96	22	
	2年	262	2	2	7	17	28	10.69	24	463	1	13	29	43	9.29	43	
	3年	240	2	2	7	15	26	10.83	22	277	1	8	18	27	9.75	25	
計		4,771	18	18	134	312	482	10.10	436	5,556	9	157	361	527	9.49	517	

※県南巡回展(阿南市) 11月13日(土) 14日(日) 阿南市立那賀川図書館

※県西巡回展(阿波市) 12月25日(土) 26日(日) 阿波市交流防災拠点施設アエルワ

第 75 回徳島県展選抜展

会 期 令和3年 10 月 29 日（金）～ 11 月 7 日（日）
 午前 9 時～午後 7 時 30 分（最終日は午後 5 時まで）
 会 場 吉野川市文化研修センター 多目的ホール
 主 催 NPO 法人吉野川市文化協会
 協 賛 徳島県美術家協会
 協 力 徳島新聞社



出 品 数

• 日本画 10 点
 • 彫刻 6 点
 • デザイン 7 点

• 洋画 20 点
 • 美術工芸 17 点
 合計 147 点

• 写真 29 点
 • 書道 58 点

来場者数 900 人

日本画部

部会長 岡 英彦

年間展望

2021年は放美展、6月に開催を予定していた第60回新作日本画展が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

◎第75回徳島県美術展（10月6日～10月11日 場所：あわぎんホール）

今回の審査は、日本美術院同人の國司華子先生にお願いした。応募点数は40点で、その中から特別賞（徳島市教育委員会教育長賞）1、特選1、準特選3、奨励賞3を含む入選24点を選んだ。

また、特選、準特選などの作品に関する審査評は次のようなものであった。

徳島市教育委員会教育長賞の久保守近「陽光」は、見ている人が水中にいるような気分になる作品で、水面に近い上部の表現が魅力的である。特選の植田忠生「小さな漁村の浜小屋」は、抽象的な表現としっかり対象物を描いた表現がうまく画面に収まり、不思議な世界を醸し出している。



県展審査



県展会場

各部記録

2021 年（令和 3 年）1 月～12 月

会員消息 (月別)

2月	第49回徳島市芸術祭美術展	シビックセンターギャラリー	
	日本美術家連盟四国地区徳島在住作家展	土方喜美子(特別出品)・鈴木恵子(招待)・久保守近	
3月	日本・中国水墨画合同展	あわぎんホール	岡英彦・土方るみ子
	第61回日本南画院展 東京展	東京都美術館	新居左よ子
	第4回佐古絆文化協会作品展	東京国立新美術館	藤井瑞雲(大阪府教育委員会賞)
4月	第18回朱泥会展(弘子卒寿記念、雪月花)	佐古コミュニティホール	久保守近
	第5回新日春展	シビックセンターギャラリー	長尾弘子・斎藤久代
		東京都美術館	土方るみ子・梶浦千鶴・植田忠生
	第61回日本南画院展 京都展	京都市京セラ美術館	藤井瑞雲(大阪府教育委員会賞)
	第24回日本の美しい自然	東京芸術劇場ギャラリー	久保守近
5月	山川公民館サロン展	山川地域総合センター	藤井吉信
6月	京都日本画家協会第8期展	京都文化博物館	土方るみ子
7月	新居左よ子個展	ギャラリー小栗	新居左よ子
	第9回女子美術大学同窓会徳島支部展	阿波銀プラザギャラリー	土井洋子・森本秀代
	日展所蔵作品展	吉野川市文化研修センター	岡英彦・土方るみ子(県内の日展会員・会友作品展)
8月	第4回日美展	東京国立新美術館	久保守近・新居左よ子
10月	第79回有秋会日本画展	大阪市立美術館	藤井瑞雲(読売新聞大阪本社賞)
	第50回阿南市文化祭美術展	阿南市文化会館	植田忠生・新居左よ子
11月	朱泥会小品展	田岡病院ギャラリー	長尾弘子
	山川公民館サロン展	山川地域総合センター	藤井吉信
	佐古コミセン文化祭	佐古コミュニティホール	久保守近
	第24回 溪生社小品展	阿波銀プラザギャラリー	久保守近
	日本画5人展(新日春展出品作品)	吉野川市文化研修センター	植田忠生
	第11回徳島女流美術展	シビックセンターギャラリー	土井洋子・土方るみ子・柳田一子・石原千鶴・斎藤久代
	光琳水墨画合同展	あわぎんホール	新居左よ子
	第30回空谷記念田野全国水墨画展	田野町ふれあいセンター	久保守近・新居左よ子
12月	第50回記念歳末チャリティー美術展	アミコ東館 6階催事場	岡英彦・土方るみ子・反田卓・久保守近

洋 画 部

部 会 長 平 木 美 鶴

年間展望

コロナ感染症の影響が続き昨年度の放美展も中止となりましたが、徐々に感染者数の減少もあり県内の個展やグループ展、全国公募展やコンクール展も開催されてくるようになりました。そして喜ばしい事に県展も開催することもでき、少しずつ県内の美術も活況を示してきました。まだ、油断はできないのですが感染症対策に気をつけ本年度も with コロナで活動できればと願います。

◎第 34 回洋画部会員展 会期：7 月 8 日～7 月 11 日 場所：あわぎんホール A 展示室

今回の会員の出品者数は 72 名でした。一昨年は中止だった事もあり出品者数は減少しましたが作品の質は良かったと思いました。会期中には例年会場にてギャラリートークを開催するのですが今回はコロナ対策として中止としました。入場者数は 367 名でした。

洋画部会員展事務局は以下です。

中 央：伊勢浩章、遠藤誠一、嵯峨潤三、手塚てる子、西川周三、榊田 務、平木美鶴、
杉本祥子

北 部：越久高照、二條 均、加川由紀子、大西文代

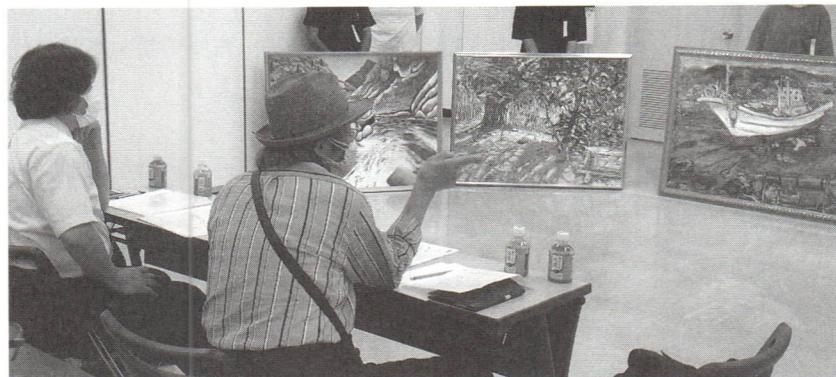
南 部：佐藤敬子、中辻奈美枝、福良哲子

西 部：鈴木敬子、松川 寛

事務局：清水 博 会計：杉本祥子 監事：佐藤敬子

◎第 75 回県美術展 会期：10 月 6 日～10 月 13 日 場所：あわぎんホール

出品者数は 202 人、出品数 265 点で前回より出品者数は減少したのですが出品数は増加しています。この事は一昨年県展が中止になった事も影響しているかと思います。審査の結果 140 点の入選（入賞も含む）でした。出品数からの入選率は 52.8% でした。審査員は安井賞受賞作家、元大阪芸術大学教授の平岡靖弘先生をお迎えしました。今回の審査はコロナ対策で非



審査風景

公開で行いましたが、丁寧な審査でした。入選作から 31 点の賞候補を選び、そこから 14 点の受賞作が選ばれました。賞と候補の質の差はなく、どの作品が受賞してもおかしくないと思います。今回も受賞作品と賞候補を

中心とした展示にも工夫をしました。以下に賞候補者の氏名（受賞者は除く）を記します。

前野亮治、嵯峨潤三、西條敏夫、手塚充子、遠藤公美子、高橋幸二、西崎志帆、後藤和子、金澤和子、工藤桂子、吉岡毅、福良哲子、二條均、西野道夫、中村俊夫、川原胡桃、多田彩音



平岡靖弘先生と洋画部委員

会員消息

- 青木 幸子 第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第18回展（シビックセンター）
- 東 紀美子 徳島アート21第18回展（シビックセンター）、第50回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）
- 伊勢 浩章 第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第18回展（シビックセンター）、第76回青美展（あわぎんホール）
- 井沢 忠明 第38回青彩美術・第49回徳島市芸術祭美術展（アミコシビックセンターギャラリー）、第36回勝浦洋画展（勝浦図書館）、加茂谷文化祭（加茂谷公民館）、第34回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 乾 繁春 第95回国展（国立新美術館）、第13回徳島絵画美学展（シビックセンター）
- 岩井 千晴 第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第18回展（シビックセンター）
- 宇高 桂子 第74回女流画家協会展（東京都美術館）、日本美術家連盟徳島在住作家展（あわぎんホール）、女子美術大学徳島支部同窓会展（阿波銀プラザ）、AWA現代アート展2021（御所山王子現代アートスペース）
- 遠藤 誠一 第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、第18回徳島版画展（県立近代美術館ギャラリー）、アワガミ国際ミニプリント展（阿波和紙伝統産業会館）、個展（ギャラリーM&M）、徳島版画選抜展（花杏豆鴨島店）
- 越久 高照 第49回徳島市芸術祭美術展（シビックセンターギャラリー）、第34回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 岡田 君代 第74回示現会展（国立新美術館）、第52回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第76回青美展・第74回示現会全国巡回徳島展（あわぎんホール）
- 小倉満智子 個展（花杏豆八万店）、第49回徳島市芸術祭美術展にて徳島市議会議長賞（シビックセンター）、第34回洋画部会員展（あわぎんホール）

- 折目 早苗 第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、AWA 現代アート展 2021（御所山王子現代アートスペース）、夢のホライズン洋画5人展（ギャラリーカフェブリッサ）
- 大西 文代 第38回青彩美術・第46回あわ洋画ぐるうぷ合同展（シビックセンター）
- 大西利津子 第49回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第35回記念徳島二紀展（あわぎんホール）、とくしま人物デッサン会会員展（アートギャラリーグレイス）、第74回二紀展（国立新美術館）
- 大津 憲文 第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、第50回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館夢ホール）
- 大坪潤一郎 第4回土日会7月展（新宿ギャラリー絵夢）、第46回土日会展（国立新美術館）、第2回 KENDO II 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、AWA 現代アート展 2021（御所山王子現代アートスペース）
- 大南 芳子 第2回 KENDO II 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第34回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 加川由紀子 第74回女流画家協会展（東京都美術館）、第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第18回展（シビックセンター）、二人展（ギャラリーカフェブリッサ）
- 河本多恵子 徳島アート21第18回展（シビックセンター）
- 河野 博匡 第2回 KENDO II 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第34回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 川中比沙子 第49回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、AWA 現代アート展 2021（御所山王子現代アートスペース）、個展（花杏豆八万店）
- 岸本 花子 全日本美術協会網走支部展にて受賞候補者受賞、徳島市八万地区展覧会洋画部門
- 近藤 克子 改組第8回日展（国立新美術館）、徳島絵画美学展・徳島女流美術展（シビックセンター）、第43回鴨島グループ展（吉野川市文化研修センター）、第34回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 後藤ユリ子 第85回自由美術展（国立新美術館）、第34回洋画部会員展・第76回青美展（あわぎんホール）、徳島女流美術展・短歌と絵画の彩り展（シビックセンター）
- 小浜 敏也 阿南市文化祭美術展（夢ホール）、徳島アート21第18回展（シビックセンター）
- 佐々木公子 徳島アート21第18回展（シビックセンター）
- 佐藤 敬子 第34回洋画部会員展・第76回青美展（あわぎんホール）、第13回徳島絵画美学展（シビックセンター）
- 嵯峨 潤三 第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、徳島アート21第18回展（シビックセンター）、第18回徳島版画展（県立近代美術館ギャラリー）
- 西條 敏夫 個展（東京銀座アートギャラリー・ギャラリー・ピエニユ）、個展（櫻ギャラリー）、吉野川市総合美術展・第43回鴨島グループ展（吉野川市文化研修センター）、第34回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 四宮 久子 第35回記念徳島二紀展・日本美術家連盟徳島在住作家展・第34回洋画部会員展（あわぎんホール）、第49回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第74回二紀展（国立新美術館）

- 志摩 政照 第 43 回鴨島美術グループ展・第 17 回総合美術展（吉野川市文化研修センター）
- 篠原佳代子 第 45 回昭和美術会展（京都市京セラ美術館）、第 1 回ナーブ 3 人展（ギャラリーカフェブリッサ）、徳島絵画美学展・徳島女流美術展（アミコシビックセンター）、第 50 回記念歳末チャリティー美術展（アミコ東 6F）
- 清水 政吉 個展（ギャラリー喫茶グレイス）、第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）、石井美術の会 5 人展（ギャラリーカフェブリッサ）
- 島上 二郎 改組第 8 回日展（国立新美術館）、東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第 87 回東光展（東京都美術館）
- 島津 千尋 第 85 回自由美術展（国立新美術館）
- 杉本 祥子 第 74 回女流画家協会展（東京都美術館）、個展（眉峰ギャラリー）、第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 18 回徳島版画展（県立近代美術館ギャラリー）、AWA 現代アート展 2021（御所山王子現代アートスペース）
- 鈴木 敬子 第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 43 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 玉田 秀子 第 49 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、徳島アート 21 第 18 回展（シビックセンター）
- 谷 慎也 第 52 回土曜会（シビックセンターギャラリー）、第 32 回現代パステル協会展（東京都美術館）、第 34 回洋画部会員展・第 76 回青美展（あわぎんホール）、三人展（ギャラリーカフェブリッサ）
- 谷口 克子 第 74 回示現会展（国立新美術館）、第 52 回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第 74 回示現会全国巡回徳島展（あわぎんホール）
- 竹原 良亮 第 49 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 田中 敏雄 第 49 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 82 回一水会（東京都美術館）、第 18 回一水会精鋭展（東京銀座画廊・美術館）、個展（ギャラリー喫茶グレイス）
- 武田 洋子 第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 13 回徳島絵画美学展（シビックセンター）
- 露口 敏幸 第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 手塚てる子 日本美術家連盟徳島在住作家展・第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）、リフレッシュ 3 人展（花杏豆鴨島店）、AWA 現代アート展 2021（御所山王子現代アートスペース）、リゼネラ 2 回展・夢のホライズン洋画 5 人展（ギャラリーカフェブリッサ）、第 18 回徳島版画展（県立近代美術館ギャラリー）、個展（M&M）
- 中村 俊夫 第 74 回示現会展（国立新美術館）、第 52 回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第 74 回示現会全国巡回徳島展（あわぎんホール）、第 2 回 KENDO II 洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、
- 中辻奈美枝 徳島アート 21 第 18 回展（シビックセンター）、第 50 回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）
- 西 富美 第 1 回埼玉独立小品展（埼玉県ギャラリー彩光舎）、仮面争展（東京銀座ギャラリー GK）、独立春季新人選抜展（東京都美術館）、第 19 回埼玉独立展（埼玉県立近代美術館）、第 88 回独立展（国立新美術館）、第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）

- 西川 敬子 第77回関西水彩画展(大阪市立美術館)、第34回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第18回展・第11回徳島女流美術展(シビックセンター)
- 西川 周三 第34回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第18回展(シビックセンター)
- 野口 暁子 第34回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 野上 恵子 第34回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 坂東 悦子 第34回洋画部会員展(あわぎんホール)、阿波美術の森作品展・阿波市文化祭(アエルワホール)、洋画四人展(花杏豆)、第45回旺玄会徳島支部展(阿波銀プラザ)
- 林 伸也 第34回洋画部会員展(あわぎんホール)、個展(櫻ギャラリー)、AWA現代アート展2021(御所山王子現代アートのスペース)
- 林 静代 第34回洋画部会員展(あわぎんホール)、第64回兵庫二紀展(原田の森ギャラリー)
- 林 康太郎 第34回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 林 敏雄 第52回土曜会(シビックセンターギャラリー)、第34回洋画部会員展・第76回青美展(あわぎんホール)
- 日野 邦恵 第8回日本美術展覧会(国立新美術館)、日本美術家連盟徳島在住作家展・第34回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第18回展(シビックセンター)、洋画4人展(ギャラリーカフェブリッサ)、第43回鴨島美術グループ展・第16回総合美術展(吉野川市文化研修センター)、土成アート展(花杏豆鴨島店)、個展(カシュカシュ)
- 平木 美鶴 第35回記念徳島二紀展・日本美術家連盟徳島在住作家展・第34回洋画部会員展(あわぎんホール)、第18回徳島版画展(県立近代美術館ギャラリー)、個展(アートギャラリーグレイス)、徳島版画選抜展(花杏豆鴨島店)、第49回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、春季徳島二紀展(阿波銀プラザ)、第74回二紀展(国立新美術館)、第64回CWAJ現代版画展(代官山ヒルサイドフォーラム)、第88回日本版画協会展(東京都美術館)
- 平野 幸子 第2回KENDOⅡ洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)
- 藤井 香世 第34回洋画部会員展(あわぎんホール)、二人展(ギャラリーカフェブリッサ)
- 藤丸 家栄 徳島アート21第18回展(シビックセンター)
- 福本 恵 第35回記念徳島二紀展・第34回洋画部会員展(あわぎんホール)、第18回徳島版画展(県立近代美術館ギャラリー)、第49回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、春季徳島二紀展(阿波銀プラザ)、第74回二紀展(国立新美術館)
- 福良 哲子 加茂谷文化祭(加茂谷公民館)
- 松川 寛 第34回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 真鍋 弘子 徳島アート21第18回展(シビックセンター)
- 前川 富子 第80回記念水彩連盟展(国立新美術館)、第34回洋画部会員展(あわぎんホール)、三人展・洋画五人展(ギャラリーカフェブリッサ)
- 前野 亮治 第45回旺玄会徳島支部展(阿波銀プラザ)
- 馬淵 尚子 第43回鴨島美術グループ展・第17回総合美術展(吉野川市文化研修センター)

- 榊田 務 退職校長会生きがい展・第 78 回東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第 49 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 眞野 尚枝 第 82 回一水会（東京都美術館）、第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 三好 初子 第 49 回徳島市芸術祭美術展・第 11 回徳島女流美術展（シビックセンター）、第 43 回白鳳洋画グループ展（キョーエイ鳴門）、第 41 回東光会徳島支部展・第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 87 回東光展（東京都美術館）
- 三沢 尚子 オペラ色の会水彩画展（阿波銀プラザ）
- 峯 幸子 日本美術家連盟徳島在住作家展・第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 84 回新制作展（国立新美術館）
- 蓑手日登美 第 105 回記念二科展（国立新美術館）、第 11 回徳島女流美術展（シビックセンター）
- 山口美千代 第 34 回洋画部会員展（あわぎんホール）、三好市文化まつり（三次市中央公民館）
- 横井嘉世恵 第 49 回徳島市芸術祭美術展招待（シビックセンターギャラリー）

写 真 部

部 会 長 上 野 照 文

年間展望

一昨年から続いているコロナ禍の中、昨年後半ぐらいからは状況も少しくなり、第75回徳島県美術展審査は非公開でしたが無事開催されました。又、クラブ展、個展なども少しずつ開かれてきました。しかし、全体的には作家活動は低調なようで、早く従来の元気さを取り戻せたらと願っています。

◎第28回放美展

2021年度中止

◎第75回県美術展（10月6日（水）～11（月）あわぎんホール）

前回に続いて立木義浩先生を迎えて10月3日に行った。応募点数461点、この中から特選4点、準特選9名、奨励賞8点、入選107点が出た。非公開審査の影響か、応募点数はかなり減りました。



審査風景



集合写真

◎写真部撮影会

2021年度中止

会員の訃報

美協顧問で元写真部会長の櫛淵魏氏（92才）が2021年3月逝去されました。

会員消息

◎第55回日本光画会写真展（1月7日（木）～10日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：林 好一

◎第36回全日本写真連盟県本部写真展（1月29日（金）～31日（日）徳島市シビックセンター）

出品者：秋田召旨・秋山修一・阿部啓三・井藤光章・井上憲治・大島茂信・大津勝治

岡本早苗・岸田義市・佐治 孝・高島武夫・二階博司・野藤敏美・野藤みきよ

橋本圭祐・橋本 勝・林 敏彦・板東泰雄・姫野博司・廣野美知子・福井邦博
福井純子・福田 勉・三谷美津子・水口義行・森 賢一・森内昭男・森住 博
吉村敏嗣

◎森内昭男写真展「冬の小川の妖精達」(2月1日(月)～28日(日)徳島市森珈琲)

◎木田英之写真展「新春の椿泊」(3月1日(月)～31日(水)勝浦町喫茶このむ)

◎20th.UNIT-D 写真展(3月26日(金)～28日(日)県立近代美術館ギャラリー)

出品者:井上憲治・上野照文・熊谷美智子・高橋一恵・多川静守・野口佳一・橋本圭祐
林 敏彦・堀口幸男・増田 寿

◎合わせて180歳写真展(5月25日(月)～6月28日(日)吉野川喫茶花杏子)

出品者:木田英之

◎幾田茂仁海中写真展(4月16日(金)～19日(月)徳島市シビックセンターギャラリー)

◎第37回サンカ会写真展(4月24日(土)～26日(月)徳島市シビックセンターギャラリー)

出品者:田中伸廣・橋本圭祐・森内昭男

◎2021 写好館クラブ写真展(5月17日(月)～23日(日)吉野川市文化研修センター)

出品者:岸田義市・喜屋武美佐子・木田英之

◎第27回徳島ライカクラブ写真展(6月25日(金)～28日(日)徳島市シビックセンター)

出品者:山田勝二・井上秀人

◎15回写真同人「光」写真展(9月3日(金)～5日(日)徳島市シビックセンター)

出品者:大島茂信・二階博司・林 和彦・林 敏彦・林 好一・姫野博司・福井邦彦
福井純子・福田 勉・松浦 孝・水口義行

◎第12回GruppoFoto23写真展(9月10日(金)～12日(日)県立近代美術館ギャラリー)

出品者:上野照文・岸田義一・喜屋武美佐子・熊谷美智子・高橋一恵・田中伸廣
谷ひづる・西岡まゆみ・山上 堯・吉田隆之

◎第61回写楽会写真展(9月23日(木)～26日(日)県立近代美術館ギャラリー)

出品者:上野照文・川真田慶治・岸田義市・櫛渕紳哉・櫛渕 魏・西岡まゆみ・板東泰雄
堀口幸男

◎第69回二科会写真部展(9月下旬東京国立新美術館にて審査)

入賞者:秋山修一・鳥居敬一・姫野博司・山下修司・鈴江純史・増田 寿・梅本貞範

◎キャノンフォトクラブ徳島第20回写真展(10月30日(土)～11月3日(水)徳島市阿波銀プラザ)

出品者:稲井健司・橋本 勝・板東泰雄

◎第27回朝日四国写真展(11月20(土) 大阪市朝日新聞社にて審査)

入賞者:岡本早苗・岸田義市・林 和彦・大津勝治・福田 勉・秋山修一・福井邦博
井上憲治・山上 堯・野藤みきよ・二階博司・阿部啓三・林 好一・大島茂信
橋本 勝・福井純子・林 敏彦

◎第52回ナルトぴんぼけクラブ写真展(11月26日(金)～28日(日)鳴門市キョーエイ駅前店)

出品者:賀川泰広・木田英之・武知 雅

◎木田英之写真展「花信の家」(12月2日(木)～24日(金)勝浦町喫茶このむ)

※会員消息は会員の展覧会情報などを載せていますが、情報などが把握出来ないこともあります。開催
案内などを写真部会長まで、お知らせいただければ幸いです。

彫 刻 部

部 会 長 井 下 俊 作

年間展望

◎第 28 回放美展・第 75 回県美術展

第 28 回放美展については、2 年続けて新型コロナウイルスの感染の広がりのため中止せざるを得ない結果となりました。放美展では特に若手作家の出品が期待されていたので、制作発表の機会が無くなったことは誠に残念でなりませんでした。

第 75 回県美術展は 2 年ぶりの開催となりました。審査を行動美術協会会員の常松大純氏にお願いしました。今回の出品総数は 20 点あり、そのうち 12 点が入賞・入選しました。

特選で特別賞の四国放送社長賞には、二宮治夫さんの木の丸太を使った大作「悲痛な叫び」が選ばれました。審査評として、「圧倒的なスケール感で目に飛び込んでくる作品だ。抜群の力強さで見ると人に迫ってくる、異常気象で頻発する災害の大きさと、人間社会がいかに対処するかをテーマとしている。自然木を生かした上部と土台の寄せ木との対比も効果的で調和している」と述べられました。二宮さんは、県展ではこれまで毎回同じようなテーマで出品を続けられ過去に受賞もしている作家です。今回の作品は細かいところまでよく気を使い、丁寧に仕上げられており見応えがありました。さらに発展させてください。

準特選に選ばれた吉田陽子さんの「時間と空間」には、「迫力あるセラミック作品、部分的に破壊されつつある点もいい、現代社会のひずみを表しているのだろう」との評でした。吉田さんの作品は、粘土を焼成した大型作品で、今回は素材の特性をよく生かしていました。作品は独自の感性で発想して作り、ひとつの世界に仕上がったのが良かったと思います。個性を生かした制作をさらに追及してほしいと思います。

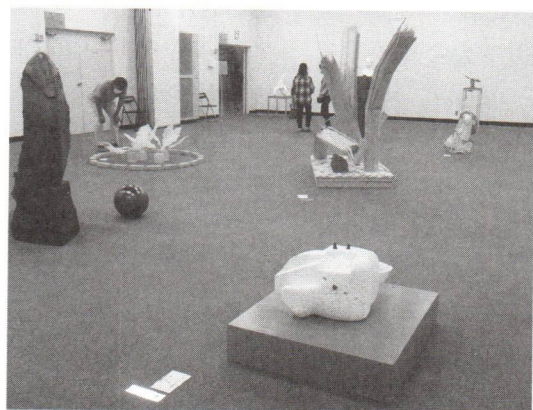
同じく準特選に選ばれた大貝寿子さんの「家族」については、「大型のセラミック作品でスケール感がある。」と評されました。大貝さんもこの分野で活躍している作家です。新鮮な発想と力強い作品を毎回見せており、これからも期待されます。

その他、「若い人の作品の中にも注目すべき作品が多かったのですが、完成度で一步及ばず選にもれたのが残念だ」とも述べられました。これらの作品は、もう少し時間をかけて仕上がりを工夫すれば、もっと良くなると思われます。今後に期待します。

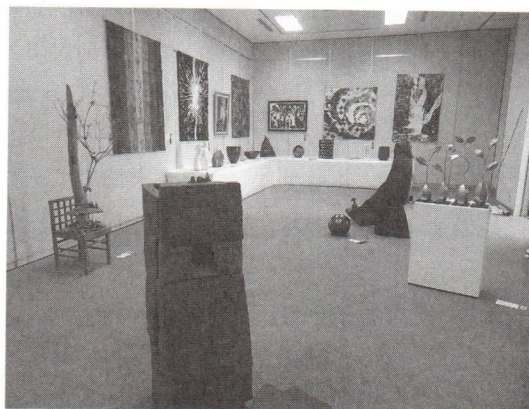
最後に、長年美術家協会の活動に彫刻部会委員としてご貢献いただきました、佐藤隆氏が 10 月に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。



県美術展 彫刻部審査風景



県美術展 彫刻部展示風景



県美術展 彫刻部吉野川市での選抜展展示風景

会員消息 (県展・放美展関係は除く。順不同)

居上 真人 5月 a→g 野外彫刻展

香川県善通寺五岳の里市民集いの丘公園

10月～11月 第59回徳島彫刻集団野外彫刻展

徳島中央公園

11月～12月 2021 石見銀山小品彫刻展

島根県大田市 群言堂本店ギャラリー

井下 俊作 10月～11月 第59回徳島彫刻集団野外彫刻展

徳島中央公園

11月 藤川アルティスにモニュメント設置

相生町

大貝 寿子	1 月	陶と造形	モラスコむぎ
	10 月～ 11 月	第 59 回徳島彫刻集団野外彫刻展（賛助出品）	徳島中央公園
河崎 良行	2 月	日本美術家連盟四国地区徳島在住作家展	あわぎんホール
	5 月	河崎良行人物デッサン・クロッキー展	ギャラリー M&M
	8 月	第 35 回記念徳島二紀展	あわぎんホール
	9 月	とくしま人物デッサン会会員展	アートギャラリー GRACE
	11 月	AWA 現代アート展 2021（賛助出品）	
		阿波市御所山王子現代アートギャラリー	
	12 月	第 8 回花とみどり・いのちと心展（共同代表）	
		国営昭和記念公園 花みどり文化センター	
鎌田 邦宏	2 月	日本美術家連盟四国地区徳島在住作家展	あわぎんホール
	3 月	2021 春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	6 月	鎌田邦広絵画展	喫茶グレイス
	8 月	われらの地平線（二紀会）	銀座三越
	8 月	第 35 回記念徳島二紀展	あわぎんホール
	9 月	とくしま人物デッサン会会員展	アートギャラリー GRACE
	10 月	第 74 回二紀展	国立新美術館
木村 大志	3 月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	10 月	第 74 回二紀展	国立新美術館
上月 佳代	2 月	第 49 回徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	2 月	日本美術家連盟四国地区徳島在住作家展	あわぎんホール
	3 月	2021 春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	6 月	第 7 回ゲタ箱展	大田原市芸術文化研究所 栃木県
	7 月	第 9 回女子美術大学同窓会徳島支部展	阿波銀プラザ
	8 月	第 35 回徳島二紀展	あわぎんホール
	9 月	とくしま人物デッサン会会員展	アートギャラリー GRACE
	9 月	上月佳代展	眉峰ギャラリー
	10 月	第 74 回二紀展	国立新美術館
	11 月	十人展	moi moi gallery
	11 月～ 12 月	2021 石見銀山小品彫刻展	島根県大田市 群言堂本店ギャラリー
佐藤 隆	10 月～ 11 月	第 59 回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園

武田亜希子	2月	第49回徳島市芸術祭美術展特別出品	シビックセンター
	2月	日本美術家連盟四国地区徳島在住作家展	あわぎんホール
	3月	2021 春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	8月	Tシャツ展2	うしお画廊 東京都銀座
	8月	第35回徳島二紀展	あわぎんホール
	10月	第74回二紀展	国立新美術館
	11月～12月	2021 石見銀山小品彫刻展	島根県大田市 群言堂本店ギャラリー
	12月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	ギャラリーせいほう
	12月	第50回記念歳末チャリティー美術展出品	アミコ東館
	12月	個展レジリエンス武田亜希子	アートギャラリー GRACE
東 光司	4月	第71回モダンアート展	東京都美術館
松永 勉	2月	第49回徳島市芸術祭美術展 審査員出品	シビックセンター
	2月～4月	TMH ギャラリーで個展	徳島市民病院
	2月	日本美術家連盟四国地区徳島在住作家展	あわぎんホール
	4月	第13回とくしま芸術文化賞受賞	
	4月～5月	a→g 野外彫刻展	
		香川県善通寺五岳の里市民集いの丘公園	
	5月	松永勉展 個展	眉峰ギャラリー
	9月	第76回行動展	国立新美術館
	10月	第76回行動展大阪巡回展	大阪市立美術館
	10月～11月	第59回徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	11月～12月	2021 石見銀山小品彫刻展	島根県大田市 群言堂本店ギャラリー
	11月	石垣島に石垣市・上板町ゆかりのまち提携	
		20周年記念モニュメント設置	石垣市
	12月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	銀座ギャラリーせいほう
吉田 陽子	10月～11月	第59回徳島彫刻集団野外彫刻展（賛助出品）	徳島中央公園

美術工芸部

部会長 松下 慶 一

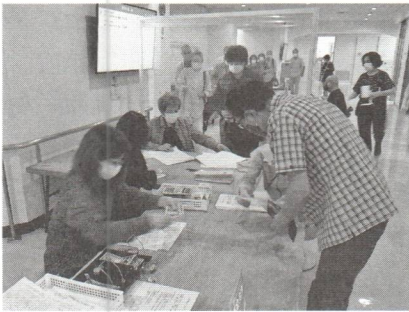
年間展望

令和3年度は放美展が残念ながら新型コロナウイルス感染防止の観点から開催が見送られました。

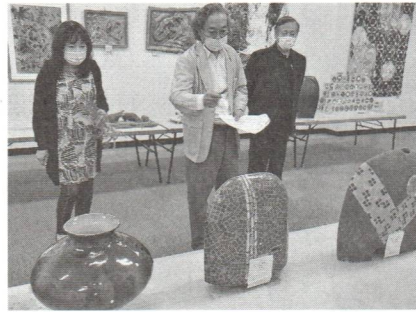
そして令和4年度に第28回放美展は延期されました。

現在も新型コロナウイルス（オミクロン株）の終息が見通しがつきませんが（令和4年1月現在）、第28回の放美展の開催と皆様のますますの作品づくりに期待しています。

◎第75回県美術展 第2期 令和3年10月13日（水）～18日（月）あわぎんホール



コロナ感染対策を施した受付



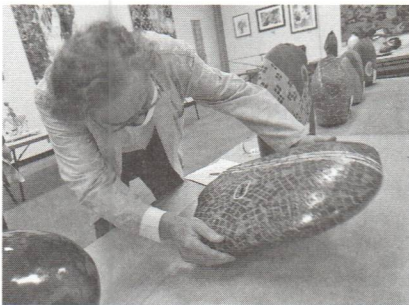
山下義人先生による審査

第75回県美術展の美術工芸部門の応募作品点数は129点（前回133点）と、前回より4点減少した。

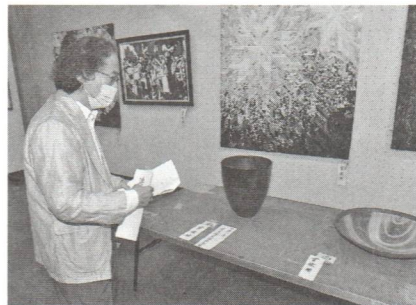
ジャンル別では、陶磁59点、パッチワーク20点、押し花13点、木竹12点、ガラス9点、染色7点の順に多かった。

作品は今回も力作が多数見られた。

今回の審査員は山下義人先生（重要無形文化財保持者（漆芸））をお願いした。



厳正な審査の様子



受賞作品を決める最終審査

総評では「創作性にポイントを置き、創作性とは作者の心の中から生まれてくるものだ。さまざまな種別の美術工芸が出展されており、中でもパッチワーク、染色、陶芸の秀作が多く、藍染め、大谷焼で知られる徳島らしさが感じられた。」ということであった。

◎第75回徳島県展選抜展が、令和3年10月29日(金)～11月7日(日)、吉野川市文化研修センターで開かれました。

◎最後になりましたが、美術工芸部会員の龍木秀子さん(パッチワーク)が第13回とくしま「芸術文化賞」を、そして、吉野由紀さん(押し花)が「とくしま芸術文化奨励賞」を受賞しました。

会員消息 (県展・放美展は除く)

阿部 能則	・藍美展	11月	藍住町総合文化ホール
天野 和子	・第59回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第49回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第5回夢のはなパッチワークキルト展	11月	あわぎんホール
	・第18回徳島版画展	11月	徳島県立近代美術館ギャラリー
	・「阿波藍」魅力発信展覧会2021	12月	あわぎんホール
上田 優	・第27回徳島県健康福祉祭「美術展」(県知事賞)	12月	あわぎんホール
遠藤 勇	・藍美展	11月	藍住町総合文化ホール
遠藤 好子	・藍美展	11月	藍住町総合文化ホール
大内 敏男	・第49回徳島市芸術祭美術展(徳島市長賞)	2月	シビックセンター
大貝 貞雄	・陶と造形による大貝貞夫・大貝寿子夫婦展	1月	モラスコむぎ
	・陶と造形による大貝貞夫・大貝寿子夫婦展	1月	
	勝瀬モータース ショールーム・ギャラリー		
	・第49回徳島市芸術祭美術展(招待)	2月	シビックセンター
	・陶と造形による大貝貞夫・大貝寿子夫婦展	5月	ギャラリー Oguri
大貝 寿子	・陶と造形による大貝貞夫・大貝寿子夫婦展	1月	モラスコむぎ
	・陶と造形による大貝貞夫・大貝寿子夫婦展	1月	
	勝瀬モータース ショールーム・ギャラリー		
	・第49回徳島市芸術祭美術展(招待)	2月	シビックセンター
	・陶と造形による大貝貞夫・大貝寿子夫婦展	5月	ギャラリー Oguri
楠 博子	・第37回ふう布パッチワークキルト展	11月	シビックセンター
越 由子	・第59回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・改組新第8回日展	10月	国立新美術館
近藤佐起江	・第49回徳島市芸術祭美術展(無鑑査)	2月	シビックセンター
	・第59回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第17回総合美術展	7月	吉野川市文化研修センター

	・第 49 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・第 33 回全国手工芸コンクール in ひょうご (神戸新聞社賞)	11 月	原田の森ギャラリー
	・「阿波藍」魅力発信展覧会 2021	12 月	あわぎんホール
近藤美佐子	・第 59 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
斎藤 和彦	・日本七宝作家協会展	10 月	東京都美術館
四宮 千代	・鳴門市展	10 月	キューエイ鳴門駅前店
高瀬 裕司	・第 49 回徳島市芸術祭美術展 (奨励賞)	2 月	シビックセンター
高橋 正昭	・第 27 回徳島県健康福祉祭「美術展」(県議会議長賞)	12 月	あわぎんホール
多智花佐代子	・第 59 回日本現代工芸美術展 (本会員出品)	4 月	東京都美術館
	・日展所蔵作品展 - 併催 - 県内の日展会員・会友作品展	7 月	吉野川市文化研修センター
田村栄一郎	・Japan blue 大谷焼	1 月	コレド室町
	・テーブルウェアフェスティバル (佳作賞)	2 月	東京ドーム
	・Japan blue 大谷焼	8 月	青山スクエア
手塚 健一	・第 49 回全国公募徳島県手工芸展 (NHK 徳島放送局局長賞)	11 月	あわぎんホール
鳥井 明子	・第 59 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・改組新第 8 回日展	10 月	国立新美術館
内藤 久子	・第 59 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 49 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・第 33 回全国手工芸コンクール in ひょうご	11 月	原田の森ギャラリー
	・第 5 回夢のはなパッチワークキルト展	11 月	あわぎんホール
長尾 敏子	・第 49 回徳島市芸術祭美術展 (無鑑査)	2 月	シビックセンター
	・第 49 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・第 49 回全国公募徳島県手工芸展 in 鳴門	11 月	キューエイ鳴門駅前店
西 浩子	・第 9 回女子美術大学同窓会徳島支部展	7 月	阿波銀プラザギャラリー
仁田 和子	・第 17 回総合美術展	7 月	吉野川市文化研修センター
	・キルトスクエア徳島作品展	11 月	あわぎんホール
原田 明子	・第 27 回徳島県健康福祉祭「美術展」(金賞)	12 月	あわぎんホール
福本美智代	・第 59 回日本現代工芸美術展 (現代工芸賞)	4 月	東京都美術館
	・第 49 回全国公募徳島県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・第 5 回夢のはなパッチワークキルト展	11 月	あわぎんホール
	・「阿波藍」魅力発信展覧会 2021	12 月	あわぎんホール
藤井 哲信	・藤井哲信・藍色のガラス展	6 月	ギャラリーバンサン
	・藤井哲信ガラス展	6 月	ギャラリーたちばな
	・'21 日本のガラス展	9 月	代官山ヒルサイドテラス
	・第 64 回伝統工芸四国展 (日本工芸会賞)	10 月	高松三越
	・工芸都市高岡 2021 クラフト展	10 月	御旅屋セリオ
	・第 4 回北近江サケグラス公募展 (山岡酒造賞)	10 月	長浜慶雲館
松下 慶一	・松下慶一作陶展	10 月	イオンモール徳島
	・日本工芸会四国支部陶芸部会展	11 月	とべ焼伝統産業会館

松下 敏之	・「青藍窯」松下敏之作陶展	5月	櫻ギャラリー
丸居 哲雄	・徳島現代クラフト展（佳作）	9月	あわぎんホール
	・第27回徳島障がい者芸術祭エナジー 2021	10月	徳島県立近代美術館ギャラリー
森 賢一	・第59回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・日展所蔵作品展 一併催一県内の日展会員・会友作品展	7月	吉野川市文化研修センター
	・改組新第8回日展	10月	国立新美術館
矢野 款一	・第64回伝統工芸四国展（特別出品）	10月	高松三越
山本 和子	・第59回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・徳島現代クラフト展	9月	あわぎんホール
	・「阿波藍」魅力発信展覧会 2021	12月	あわぎんホール
山本 由実	・第59回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・個展	11月	ギャラリー Oguri
横井嘉世恵	・第49回徳島市芸術祭美術展（招待）	2月	シビックセンター
吉田 眞弓	・第5回夢のはなパッチワークキルト展	11月	あわぎんホール
吉野 由紀	・押し花絵画創造展第17回コンテスト	1月	日本橋三越本店
	・第49回徳島市芸術祭美術展（招待）	2月	シビックセンター
	・吉野由紀「花あそび」押花作品展	5月	徳島県立総合教育センター
	・全国現代クラフト展	9月	あわぎんホール
	・クラフト創作展	11月	アミコ東館
	・吉野由紀「花あそび」押花作品展	11月	ギャラリーカフェ「ファンファーレ」
	・「阿波藍」魅力発信展覧会 2021	12月	あわぎんホール
四十宮年代	・第49回徳島市芸術祭美術展（特別出品）	2月	シビックセンター
龍木 秀子	・第59回日本現代工芸美術展	4月	東京都美術館
	・第49回全国公募徳島県手工芸展	11月	あわぎんホール
	・第49回全国公募徳島県手工芸展 in 鳴門	11月	キューエイ鳴門駅前店
	・「阿波藍」魅力発信展覧会 2021	12月	あわぎんホール
	・第13回とくしま芸術文化賞受賞記念 龍木秀子パッチワークキルト作品展	12月	あわぎんホール

書 道 部

部 会 長 隅 田 英 二

年間展望

令和3年は、コロナウイルスがこれまで以上に猛威を振るい、3波に及ぶ大きな感染となった。本県でも1日に60人にも及ぶ感染があり、放美展は2年連続で延期され、社中展等も延期を余儀なくされた。

そのような中、6月から本格化したワクチン接種によって、9月初めには感染者数が徐々に減少し、県展は対策を講じた上で無事に開催することができた。県展以降は感染が沈静化し社中展も徐々に開催されていった。ただ変異株が次々と発生しており先行きは不透明である。

◎中止または延期された県内社中展

- ・第8回青藍会書作展
- ・第19・20回一心会書展
- ・第8回翔和会かな書作展
- ・第85・86回書芸院展
- ・第62回墨華書道展
- ・第28回三美書研展

◎第75回県美術展（10月21日（木）～25日（月） あわぎんホール）

書道部門は県展7部門の中で最も出品数が多く、例年開催準備には多くの方々にご協力いただいている。従ってこのコロナ禍において、観客の感染対策はもとより、準備協力者の感染防止をいかに図るかが大きな課題であった。綿密な準備計画のうえ、例年とは違ったスケジュールや方策をとり、万全な対策を努めた。ブレイクスルー感染も発生している中、ご協力いただいた方々に心よりお礼を申し上げる次第である。

○書類搬入（9月10日（金）11日（土）徳島新聞社）

例年30人ものの方々にご協力いただいております、感染リスクが避けられないため、今年は新聞社にお願いした。出品申込書や出品料、協会会費の受取りなど煩雑な業務を正確に処理していただいた。

出品数609点（前回690点）、出品人数361人（同410人）で大きな減少となった。

○作品搬入（9月28日（火）あわぎんホール）

作品整理を行うとともに審査結果の誤発表を防ぐため、コロナ禍の中ではあるが、今年も作品背面及び側面の出品票・添付票等と作品との合致確認を行った。

協力者：荒井、和泉、岩本志、上田輝、加村、亀石、川村、日下、富久、中尾、林桂、松永、向井京、森光、山口華

○審査（9月29日（水）仮名、30日（木）近詩・前衛、10月1日（金）漢字篆刻 あわぎんホール）

審査は例年全部門同時進行で行っているが、今年は3日間に分けて実施した。また非公開のこともあり、公平・公正性にも配慮した措置を講じた。

審査員は、漢字篆刻：真神巍堂先生（京都教育大学名誉教授）、仮名：舟尾圭碩先生（日

展会員)、近代詩文・前衛：鈴木不倒先生（日展会友）であった。

協力者：荒井、和泉、岩本志、上田輝、加村、亀石、川村、日下、富久、中尾、林桂、
向井京、山口華

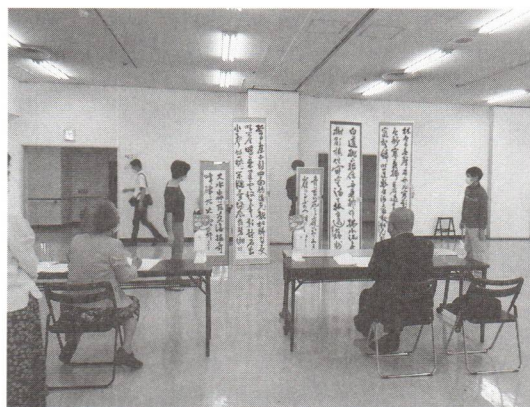
○展示（10月19日（火）前衛・漢字 20日（水）仮名・近詩・篆刻・無審査 あわぎんホール）
感染対策のため展示も2日間に分けて実施した。なお今回展は各部門の受賞作を並べて
展示し一覧できるようにした。

協力者：岩本志、上田輝、加村、亀石、川村、林桂、向井京、山口華、山口幽

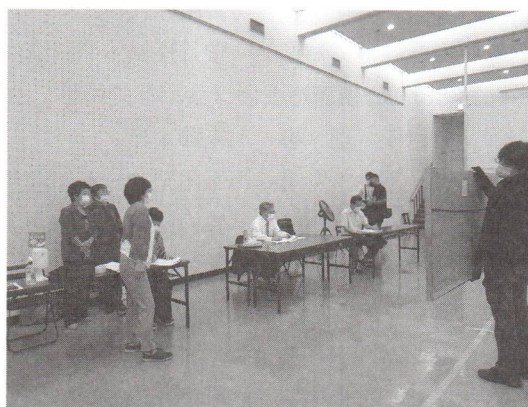
○撤去（10月25日（月）午後4時より あわぎんホール）

協力者：和泉、岩本志、上田輝、加村、亀石、川村、中尾、林桂、林樟、森光、山口幸、
山口幽、山本景、吉田鈴

※ なお今回展より観覧者に「書の鑑賞－読まないで見て感じる－」を配付した。



漢字審査



仮名審査



近代詩文審査



漢字受賞作展示会場

会員消息 (県展・県内社中展を除く)

◎中央展や県外展の役員出品者・入賞者 (令和3年1月～令和3年12月) 順不同

○第62回太玄会書展 (東京都美術館 1/20～26)

理事・総務 中尾勝子
 理事・実行委員 西谷香峰・南 溪石
 理事 馬居李帆・鈴木恵理・田上洋香・弘田長風

○第57回創玄展 (国立新美術館 3/4～14)

一科審査員 荒井彭仙・玉城乾香・浜 佳香
 二科審査員 永松春苑・多田清芳・岩本志豪・蓑毛翠琴・岡崎啓香・高瀬大峯
 審査会員 吉田和婉・平岡幽琴・岸 緑香・朝三皐如・長原皋月・山口幽径
 大西清葩・佐藤恵和・武田玲香・仁木志香・玉城乾舞・丸田恵風
 野田満代
 秀 逸 荒井遥風・幸田清尚・武市奏香・藤本瑤香・富永美祥・遠藤玻都恵

○第83回謙慎書道会展 (東京都美術館 3/17～23)

常任理事 米澤東籬
 理事 平田紀芳・石川翔芳
 秀 逸 竹内靖馨

○第55回雪心会書作展 (奈良県文化会館 3/24～28)

F ク ラ ス 青木東原
 E ク ラ ス 吉村敬子

○第75回日本書芸院展 (大阪市立美術館 4/6～11, 5/25～30) (大阪国際会議場 4/21～25)

参 与 薄田玲泉・能仁華瑤・伊丹東龍
 評 議 員 上田輝芳・亀石文苑・辻 紅雲・福家美鵬・川村春琴・福永美泉
 森 光翔
 一科審査会員 清水桂月・河野真流・宮守崇流・松永翠月・八木藍玉・赤川景舟
 井上虹雨・倉本景雨・加村喜美子・浅川蘭舟・四宮千春・林 美雪
 河野多美・石井祥洸・吉田翠彩・勝浦光漾・背川景玲・松本景芳
 山本景琴・佐野収華・井上景玄・高橋芳琴・青木東原・竹田和代
 阿部博子・古川秀恵・田村元帥・田中子葉・吉岡春鵬・後藤佳美
 稲木裕美
 二科審査会員 佐川菁流・谷 令琴・丸岡春暁・忠津玉燕・岡部比登美・恵美春陽
 戸出芳泉・廣瀬蕙花・横田典子・筧 爽韻・伊藤景風・安友彰子
 折野佳子・寺尾俊通・杉本裕子・吉村敬子・藤山真由里・市原美希
 井上小百合
 史 邑 賞 吉田翠彩
 大 賞 恵美春陽・戸出芳泉・廣瀬蕙花
 準 大 賞 寺尾俊通
 特 別 賞 田中紫苑

準 特 別 賞	河野美鶴・折野幸峰・杉本香苑・園尾恵風・向井境子
特 選	木村秀光・岩本義浩
一 科 推 薦 賞	稲井華風

○第 49 回日本の書展

招 待	能仁華瑤・清水桂月・伊丹東龍・薄田玲泉・上田輝芳・宮守崇流 川村春琴・井上虹雨・辻 紅雲・河野多美・福家美鵬・吉田翠彩 森 光翔・福永美泉・山本景琴・古川秀恵
秀 抜 選	武市鳴雲・赤川景舟・倉本景雨・井上景玄・背川景玲・松本景芳 高橋芳琴・廣瀬蕙花・岩本志豪・吉田和婉・八木藍玉・田中子葉 皆谷芳穂・戸出芳泉・勝浦光漾・四宮千春・高瀬大峯・田村元帥

○第 72 回朝陽書道会展（岡山県天神山文化プラザ 6/25 ～ 27）

顧 問	薄田玲泉
副 理 事 長	上田輝芳
総 務 理 事	井上虹雨
常 任 総 務	河野真流・宮守崇流・森 光翔・山本景琴
常 任 理 事	赤川景舟・倉本景雨・佐川菁流・井上景玄・背川景玲・松本景芳 廣瀬蕙花・高橋芳琴

○第 45 回由源全国書道展（大阪市立美術館 6/29 ～ 7/4）

理 事	川村春琴
常 任 委 員	丸岡春暁・中村春岳・山口幸琴

○第 35 回玄心書道展（兵庫県原田の森ギャラリー 7/2 ～ 7/4）

副 会 長	伊丹東龍
常 任 総 務	辻 紅雲・福家美鵬・古川秀恵・吉田翠彩
総 務 理 事	勝浦光漾・田村元帥
参 与	浅川蘭舟
常 務 理 事	田中子葉
理 事	吉岡春鵬

○第 72 回毎日展（国立新美術館 7/8 ～ 8/1）（愛媛県立美術館 8/25 ～ 29）

審 査 会 員	荒井彭仙・玉城乾香
会 員	永松春苑・浜 佳香・多田清芳・岩本志豪・吉田和婉・平岡幽琴 長原皋月・高瀬大峯・幸田清尚・玉城乾舞・中川観山
秀 作 賞	大西清葩
佳 作 賞	川又晃容・佐藤恵和

○日展所蔵作品展 併催 県内の日展会員・会友作品展（吉野川市文化研修センター 7/20 ～ 7/27）

会 友	米澤東籬・福永美泉・向井京子・亀石文苑・井上虹雨・森 光翔
-----	-------------------------------

○第 37 回読売書法展（国立新美術館 8/20 ～ 29）（サンメッセ香川 10/22 ～ 24）

参 与	清水桂月
理 事	能仁華瑤・薄田玲泉・河野真流・伊丹東龍・上田輝芳・亀石文苑 宮守崇流・辻 紅雲・林 美雪・川村春琴・米澤東籬・井上虹雨

幹 事	事	河野多美・竹田和代・福永美泉・福家美鵬・吉田翠彩・森 光翔 古川秀恵・山本景琴
		倉本景雨・井上景玄・背川景玲・松永翠月・佐野収華・青木東原 松本景芳・赤川景舟・勝浦光漾・加村喜美子・廣瀬蕙花・田中子葉 岡部比登美・河野美鶴・四宮千春・阿部博子・八木藍玉・鈴木恵理 田村元帥・糺真理子
評 議 員	員	内田麻紀・杉本裕子・浅川蘭舟・石井祥洸・向井境子・籾 爽韻 井上小百合・後藤佳美・平田紀芳
読 売 俊 英 賞	賞	勝浦光漾
特 選	選	石川翔芳
秀 逸	逸	恵美春陽・中村春岳・和泉和舟・折野佳子

○第 8 回日展（国立新美術館 10/29～11/21）

入 選	選	八木藍玉・青木東原・伊丹東龍・辻 紅雲・勝浦光漾・米澤東籬 背川景玲・森 光翔・亀石文苑・加村喜美子・糺真理子・向井京子 吉田和婉
-----	---	---

○第 47 回創玄現代書展（セントラルミュージアム銀座 11/2～7）

入 選	選	武田玲香・平岡幽琴
-----	---	-----------

○第 70 回奎星展（東京都美術館 11/2～8）

準 特 選	選	佐藤由紀代
-------	---	-------

○第 43 回日本書道学院展（東京都美術館 11/10～16）

常 任 理 事	事	薄田玲泉・河野真流
理 事	事	赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・上田輝芳・倉本景雨・背川景玲 高橋芳琴・廣瀬蕙花・宮守崇流・森 光翔・山本景琴・松本景芳

○第 58 回水穂書展（京都市勧業館 11/11～12）

総 務	務	向井京子
-----	---	------

○第 61 回記念璞社書展（大阪市立美術館 11/30～12/5）

顧 問	問	清水桂月
参 事	事	能仁華瑤
参 与	与	武市鳴雲・馬居李帆
常 任 理 事	事	八木藍玉・松永翠月・横田典子・林 美雪・河野多美・鈴木恵理 弘田長風・佐野収華・石井祥洸
理 事	事	田上洋香・岡部比登美・恵美春陽・高柳早秀・南 溪石・河野美鶴
幹 事	事	上田美智・井上加芳・稲井華風・磯川味佳・伊達静蘭・北村清翠 園尾恵風・一宮堆川・籾 爽韻・澤本悠洸・島 祥瑤
幹 事 推 薦 賞	賞	木村秀光
入 選	選	井野恵風・高橋信華・田中紫苑・安丸華風・野村佳芳
書 芸 院 賞	賞	多田彩峰
特 別 賞	賞	柏尾美峯
優 秀 賞	賞	岩本義浩

○第73回正筆展（兵庫県原田の森ギャラリー 12/11～12）

常任総務理事	竹田和代・亀石文苑
総務理事	加村喜美子・阿部博子・内田麻紀
常任理事	糺真理子・脇坂 優・和泉和舟・井上小百合・折野佳子・杉本裕子 寺尾俊通・向井境子・中筋良江
理事	今津紫秋・田岡佐記子・中川年代・三宅葉子・濱口 恵・平尾卓美 古谷和代・関根史子
正筆賞	田岡佐記子
梅花賞	篠賀知代

◎県内社中展や個展等

○第45回東玄書道会展	阿波銀プラザ	2月 5日～	7日
○第85回書芸院展	阿波銀プラザ	2月18日～	21日
○第12回徳洋社書作展	県立文学書道館	3月 5日～	7日
○第53回清潮書作展	あわぎんホール	3月 5日～	7日
○第41回書研社展	アミコシビックセンター	3月12日～	14日
○第48回光輪社書作展	県立文学書道館	3月12日～	14日
○第10回桂和会書展	藍商佐直 吉田家住宅	3月26日～	28日
○第3回徳島玄心会書展	県立文学書道館	3月27日～	29日
○第35回記念正鋒会書展	あわぎんホール	4月 2日～	4日
○第27回歌の会書作展	県立文学書道館	4月 2日～	4日
○第33回長玄書道会展	阿波銀プラザ	4月 2日～	4日
○創立40周年記念 第25回尚真書展	あわぎんホール	6月 4日～	6日
○第14回幽の会書展	アミコシビックセンター	7月 9日～	11日
○第66回書協人展	あわぎんホール	9月17日～	19日
○第63回硬筆書道県展	県立文学書道館	10月23日～	24日
○第86回書芸院展	阿波銀プラザ	11月 5日～	7日
○第51回直心会書展	あわぎんホール	11月19日～	21日
○第24回せゝらぎ書展	県立文学書道館	11月19日～	21日
○泉心500号記念展	県立文学書道館	11月20日～	21日
○令和3年度高校教員書道展	県立文学書道館	12月 3日～	5日
○第17回吉野川市書人会作品展	吉野川市文化研修センター	12月 3日～	5日
○第6回由源書心会展	県立文学書道館	12月10日～	12日
○第30回謙慎書道会西部展	四国大学交流プラザ	12月10日～	12日
○第41回臨池書展	アミコシビックセンター	12月18日～	19日

※各社中からの報告を受けて掲載しております。

個人（社中に無所属）の方で掲載を希望する場合は、掲載内容を12月20日までに部会長までご寄稿ください。

（書道部）

デザイン部

部会長 坂野 美恵子

年間展望

◎第75回徳島県美術展（2021年10月13日（水）～10月18日（月） あわぎんホール）

今回は、新型コロナ対策のため全部門の審査が非公開で行われた。デザイン部門の出品数は59点（入賞・入選 36点）であり例年より少し少なかったが、高校生・大学生の力作が多かった様に思われる。今回の審査員には対馬 肇先生を迎えて厳正な審査が行われた。デザイン部門の徳島県議会議長賞は、小川日菜さん（18歳）大学生の「never give up」が受賞し、「抜群に魅力ある作品であり、矢が体に突き刺さり傷を負いながらも意気揚々としている力強い馬の姿とタイトルに（コロナ禍に負けない）という強いメッセージ性を感じた」という評価であった。

◎第105回記念二科展デザイン部門

<特別テーマ・ポスター>で美術家協会部会員の山野井宏宗さんが特選賞を受賞した。二科展で受賞するのは非常に厳しく、今後の活躍が期待される。



徳島県美術展 デザイン部 審査風景



会員消息

■斎藤 繁次

11月 第35回 藍美展 出品 藍住町文化ホール 11/5（金）～11/7（日）

■斎藤 志津子

4月 個展「植物図鑑」 板野町ギャラリーカフェブリッサ 4/18（日）～5/9（日）

11月 第35回 藍美展 出品 藍住町文化ホール 11/5（金）～11/7（日）

■坂野美恵子

9月 第105回記念 二科展デザイン部門 会員出品（東京六本木 国立新美術館）

■沢口 功

2月 第49回 徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員作品出品

会場 徳島市シビックセンター3階ギャラリー

12月 第50回 記念 歳末チャリティー美術展 作品出品（徳島新聞社会文化事業団）

■敷島のり子

2月 第49回 徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員作品出品

会場 徳島市シビックセンター3階ギャラリー

■田中 一郎

3月 第29回 城東高校定期演奏会

（ポスター・チラシ・チケット・プログラム・看板）のデザイン制作

■西林 良枝

2月 第49回 徳島市芸術祭美術展デザイン部門 特別出品

会場 徳島市シビックセンター3階ギャラリー

■福井 章

12月 第50回記念 歳末チャリティー美術展 作品出品（徳島新聞社会文化事業団）

■山野井宏宗

9月 第105回記念 二科展デザイン部門（B部門） 特選賞 受賞

（東京六本木 国立新美術館）

■吉本 實

2月 第49回 徳島市芸術祭美術展デザイン部門 審査員作品出品

会場 徳島市シビックセンター3階ギャラリー

■四十宮隆志

1月 JAGDA 徳島地区公式 Facebook 公開

7月 JAGDA 全国オンラインイベント参加

8月 JAGDA 四国地区オンラインイベント参加

11月 JAGDA 中四国地区オンラインイベント参加

11月 JAGDA 全国オンラインイベント参加

12月 とくしま PR デザインコンテスト審査員

徳島県美術家協会規約

昭和 23. 9. 12	規約制定	昭和 61. 6. 21	規約一部改正
32. 7. 14	新規約制定	平成 4. 6. 27	"
33. 4. 29	規約一部改正	6. 6. 25	"
42. 4. 23	"	10. 6. 27	"
46. 4. 29	"	23. 6. 4	"
47. 5. 29	"	24. 6. 9	"
49. 8. 22	"	25. 6. 1	"
52. 7. 23	"	26. 6. 1	"
56. 5. 5	"	28. 6. 4	"
58. 6. 5	"	30. 5. 26	"

第1章 総 則

- 第1条 本会は徳島県美術家協会と称する。
- 第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。
- 第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。
- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン
- 第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。
- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

- 第5条 本会に次の役員をおく。
- 会 長 副会長(2名) 事務局長
理 事(若干名) 監 事(2名)
- 会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員の任期は2年として留任をさまたげない。ただし、会長、副会長、理事においては選出は、80歳を限度とする。(任期途中に誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)
- 会長・副会長の総会での選出方法は、各部で代議員の中から2名の選考委員を選び、予め候補を選考した後、総会で選出する。
- 第6条 本会は顧問および特別会員を次の規定によりおくことができる。
- ①会長または副会長を10年以上務めた後、理事会で認められた者を顧問とする。
- ②理事または部会長を10年以上務めた者、若しくは各部会からの推せんにより理事会で認められた者を特別会員とする。
- 第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。事務局長はこの会の事務業務を統括する。監事はこの会の経理を監査する。
- 第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計事務の報告、役員の選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。
- 総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。ただし、最終端数の人員が算出された場合は、繰り上げるものとし1名を追加する。
- 第9条 理事会及び部会長は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を

執行する。事務局長は必要に応じ事務局員を招集し、事務分担を行う。

第3章 部 会

- 第10条 各部に次の役員をおく。
- 部会長・委員(部会員数の3割以内とするが、部の事情によってはこの限りではない)
- 部監事(2名)
- 事務局員(2名)
- 役員は部総会で選出する。役員の任期は2年とし留任をさまたげない。ただし、部会長においての選出は80歳を限度とする。(任期途中に誕生日を迎えた場合はその任期終了までとする)
- 第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計事務の報告、役員の選出その他重要事項の審議を行う。
- ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。
- 第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。
- 第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。
- 第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

- 第15条 会員の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。
- 第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。
- 第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

内 規

- 1(監事)
監事は、基本的に規約第3条の順に従って、2部会が役員の任期期間をつとめる。
- 2(総会の議長)
総会の議長は、規約第3条の順に毎回持ち回りでつとめる。

(参 考)

- ☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。
- ☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。
- ☆昭和25年12月18日 協会パッチを選定(図案は鬼塚副会長)
- ☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~5名)によることとする。
- ☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうえに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。
- ☆平成23年6月1日 事務局を事務局長の住所に置く。

後援承認事務取扱規定

(趣 旨)

第1条 この規定は、徳島県美術家協会（以下「協会」という。）以外の団体が自主的、自発的活動として行う教育、文化及び美術等の各種行事に対して、協会が後援又は共催若しくは推奨（以下「後援等」という。）をする場合の承認事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規定においての後援とは、協会以外の団体が計画した行事に、協会が当該行事の奨励及び助長をすることをいう。

(基本的な留意事項)

第3条 協会が美術展等を承認する場合は、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 「後援等を承認する」ということは「協会の名義使用を認める」ということであり、それだけに他に及ぼす影響等を十分考慮し、過誤のないようにすること。
- (2) 安易に後援等を承認すると、一般市民の誤解を招き協会の信用をそこなうこととなるので、慎重に取り扱うこと。

(行事の主催者)

第4条 協会が後援等を承認する場合の主催者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 教育、文化など協会の7部門に関係した機関及び団体。
- (2) 国又は地方公共団体及びそれらの機関。
- (3) 教育、文化機関及び美術研究団体。
- (4) 公益法人（宗教法人を除く。）及びこれに準ずる公共的団体。
- (5) その他、協会が特に認めたもの。

(承認の基準)

第5条 協会が後援等を承認する場合の行事内容は、「教育、文化及び美術等の普及向上に寄与するもので、公益性のあるもの。」でなければならない。ただし、次の各号の一に該当するものは後援等の承認をしないものとする。

- (1) 政治的、宗教的中立性を侵すおそれのあるもの。
- (2) 特定の流派等で、協会の後援に適さないもの。
- (3) 営利又は売名（個人、団体を問わない。）の意図をもって企画されているもの。
- (4) 行事の企画、運営等が適切でないと認められるもの。

- (5) その他、協会が後援等をするを不適当と認めるもの。

(後援等の申請)

第6条 行事の主催者は、協会に後援等の承認を得ようとするときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書（様式第1号）を原則として30日前までに提出しなければならない。

- 2 前項の申請書には、行事計画及び行事内容の記載を必要とする。また、その内容によっては、協会が必要書類の提出を求めることがある。

(承認決定の通知)

第7条 協会は、後援等を承認決定したときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認通知書（様式第2号）により申請者（主催者）に通知するものとする。

(後援等の取消し)

第8条 協会は、後援等を承認決定した後において、当該行事が次の各号の一に該当したときは、後援等を取り消すものとする。

- (1) この規定の第5条の規定に接触することとなったとき。
- (2) 後援等申請書が虚偽の申請であったとき。
- (3) 承認決定の条件に違反し、協会の指示に従わなかったとき。

附 則

- 1 この規定は、平成24年6月9日から施行する。

徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書

年 月 日

徳島県美術家協会会長 様

申請者（主催者）

住 所 _____

団 体 名 _____

代表者名 _____ 印

電話番号 _____

次の行事について徳島県美術家協会の後援名義使用承諾を得たいので関係書類を添えて申請します。

新規 ・ 継続 （該当に○印をつけてください）

行 事 名

開催日時（期間）

年 月 日（ ）～ 年 月 日（ ）

開 催 場 所 名

開催場所所在地

共 催 団 体 名

他の後援団体名

入 場 料

有（詳細を記入： _____） ・ 無

後援承認通知書
送付先住所氏名

〒 _____ 氏名

行 事 概 要
（行事計画及び行事内容などを記載してください）

注 1） 共催団体名、他の後援団体名は予定のものも含めて記載してください

様式第 1 号

※コピーしてご利用ください

あ と が き

コロナ感染は、昨年1年で3波に及び、これまでにない感染者を数えました。放美展は2年連続で延期となり、また県内の多くの美術展・文化行事が延期を余儀なくされました。そういった中、ワクチン接種が進んだことによって、県展は感染対策を講じたうえで、無事に開催することができました。関係のみなさまに心よりお礼を申し上げる次第であります。

県展は昭和21年に第1回展が開催され75回目を迎えました。それを記念して「現代アート展」を開催しました。多様なジャンルの作品が発表され、さらなる広がりが見られた県展となりました。

このたびの「美術年報」の装丁は、デザイン部の坂野美恵子さんをお願いしました。「コロナ禍の時代なので、明るい未来－花・人－をイメージして制作した」とのことです。希望あふれるすばらしい作品のご提供ありがとうございました。

今年度から事務局を美術工芸部（藤井哲信事務局長）より引き継ぎ、書道部が担当しております。行き届かぬ点も多いことと存じますが、どうかご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年こそコロナ禍が終息し、みなさまの創作活動並びに県内美術界が以前にもまして充実・発展されますことを祈念申し上げます。

令和4年3月

徳島県美術家協会

事務局長 隅田 英二

美術年報 2022

令和4年3月30日 印刷

令和4年3月31日 発行

編集者 隅 田 英 二

装幀者 坂 野 美恵子

発行人 松 永 勉

印 刷 星印刷株式会社

発行所 徳島県美術家協会
名西郡石井町下浦 929 隅田方

